

日本歯科大学 新潟生命歯学部

The Nippon Dental University School of Life Dentistry at Niigata



2017

2つの歯学部——学生諸君へ

日本歯科大学は、明治40年に創立されました。それから65年後の昭和47年に、第2歯学部として新潟歯学部を増設しました。

明治の当時も昭和の当時も、歯科医師が過少という医療状況にあって、本学は、国民社会の要請に即応したのです。その結果、本学は、2つの歯学部を有する唯一の歯科大学、となりました。

第2歯学部の基本構想は、東京の既存の歯学部とは違う歯学部を造ることでした。そこで、地方都市に新しい特色あるキャンパスをめざして、まだ裏日本といわれていた日本海側の新潟市を選定しました。すでに、上越新幹線の開通計画がありましたので、東京の歯学部と新潟歯学部を結ぶ日帰り圏という立地であることも、選定の理由になりました。

ご覧のとおり、東京の歯学部は皇居と外濠の間に位置する首都の中心地にあります。また新潟歯学部は、政令指定都市の中心地に緑豊かなキャンパスが広がります。

首都東京に憧れをもつ諸君は多いでしょう。一方、ローカル色を好む諸君も少なくありません。東京の歯学部も新潟歯学部も、どちらも魅力があり良い所が沢山あります。

そのいずれが自分に合うか、を判断基準にすることをお勧めします。どちらを選んでも6年後には、飯田橋あるいは新潟市が第2の故郷となるでしょう。

さらには、東京の歯学部で学んでも新潟歯学部で学んでも、諸君は同じ日本歯科大学の卒業生として巣立っていきます。同じ年の卒業生は、東京・新潟ともに同級生なのです。

卒業後には、日本歯科大学卒として日本歯科大学校友会に所属します。そして、同じ釜の飯を食った仲間として、また同じ仕事に携わる職業人として、大きな強い絆で結ばれます。

私は、日本歯科大学を卒業して後悔した人はいない、と信じています。

学校法人 日本歯科大学理事長
日本歯科大学学長

中原 泉





歯科医療の新時代をリードする日本歯科大学



校章



シンボルマーク



100周年記念シンボルマーク

歯科界の源流として

日本歯科大学は、中原市五郎によって、明治40年(1907)6月、公立私立歯科医学校指定規則に基づくわが国最初の歯科医学校として創立されました。当時、歯科医療は黎明期にあり、「学・技両全にして人格高尚なる歯科医師の養成」を建学の目的としました。そして歯・顎・口腔の医学を教導し、学・術・道を兼ねそなえた歯科医師を輩出し、歯科医学の進展、歯科医療の向上、患者国民の福祉に尽力しました。

私学として創立者の「自主独立」という建学の精神を継承し、平成28年(2016)に創立110周年を迎えます。この110年におよぶ歴史と伝統は、本学がわが国の“歯科界の源流”といわれる由縁であります。

世界最大の歯科大学である

日本歯科大学は、現在、歯科医学の総合的の大学として、2つの歯学部を有する

日本歯科大学

新潟生命歯学部

- 新潟病院
- 医科病院
- 先端研究センター
- 図書館
- 医の博物館

新潟生命歯学研究科

新潟短期大学

- 歯科衛生学科



生命歯学部

- 附属病院
- 共同利用研究センター
- 図書館
- 口腔リハビリテーション
多摩クリニック

生命歯学研究科

東京短期大学

- 歯科技工学科
- 歯科衛生学科

唯一の歯科大学です。東京と新潟の両キャンパスを合わせて、2つの大学院研究科、2つの歯学部、3つの附属病院、2つの短期大学、および博物館を擁し、学生総数約2,000名、専任教職員数約1,000名、および卒業生総数約20,000名を数えます。

本学は、まぎれもなく世界最大の歯科大学であります。

「生命歯学部」のフロントランナーとなった

日本歯科大学は、学部等の名称を『生命歯学部』に変更しました。これは、歯科医学は生命体を学ぶ学問であり、歯科医療は生命体への医行為であることから、生命科学のレベルに相応しいネーミングとして、生命という2字を冠したのです。これによって、歯科学生と歯科医師の意識を改革し、患者国民の歯科に対するイメージを一新することを期しています。

フロントランナーとして投じたこの一石が、歯科界はじめ患者国民の意識革命を促すものと信じています。



建学の精神と目的

本学は、その創立以来建学の精神を「自主独立」、学校の目的を「学・技両全にして人格高尚なる歯科医の養成」と定め、百年を超える年月において脈々と継承している。

基本理念

本学は、高等教育機関として、広く知識を授けるとともに、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的および応用能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする。











教育目標

1. 幅広い教養と倫理観を持った医療人の育成
2. 問題を発見し解決する能力を持った医療人の育成
3. コミュニケーション能力のすぐれた医療人の育成
4. 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人の育成
5. 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人の育成
6. 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人の育成
7. 僻地医療や高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人の育成
8. 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人の育成
9. 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人の育成
10. 世界をリードする国際性を有する医療人の育成

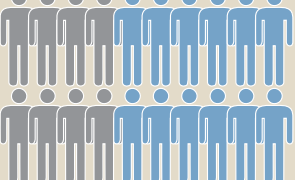
入学者受入方針(アドミッションポリシー)

本学は基本理念と教育の目標を達成するために、十分な学力と高い目標意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人を求めています。

個性あふれる伝統の日本歯科大学

01 大学院 2  
 歯学部 2  
 病院 3   
 短期大学 2  
 博物館 1 

世界最大の歯科大学

02 


総数 2 万余名、現在 1 万 2 千余名

世界最多の歯科大学卒業生数

03 

第105回卒業式 (新潟生命歯学部)

わが国歯科大学唯一の
三桁の卒業回数

04 

新潟生命歯学部

わが国唯一の生命歯学の学部名

05 

Niigata
Tokyo

2つの歯学部を有する
唯一の単科大学

06 

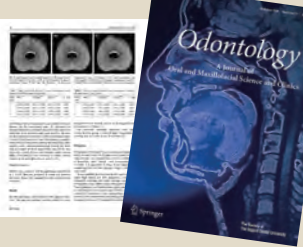
明治39年の旧歯科医師法制定に伴い設立されました。
日本歯科大学の前身、私立共立歯科医学校が創立された東京都千代田区大手町にある日本歯科大学発祥の碑

わが国初の歯科医学校

07 TOKYO 

飯田橋

東京都の中心・飯田橋に
位置する地の利

08 

IFを有する国際歯科学術誌
『Odontology』の刊行

09 

わが国最古級の大学新聞
『日本歯科大学新聞』の刊行

10 

p36

わが国歯科大学最多、
16カ国18大学と国際姉妹校提携

11 


UBCのフェアウェルパーティー

ブリティッシュ・コロンビア大学、
ワシントン大学と「交換留学生」27年間

12 

合同ワークショップ

わが国歯科大学最多の
大学ワークショップ開催

13 

わが国唯一の総合歯科医学辞典
『新常用歯科辞典』の刊行

14 NIIGATA 

p42

わが国唯一の公的医学博物館
「医の博物館」

医の博物館内部

15 NIIGATA 

p25

わが国唯一の歯科病院と
併設の医科病院

新潟医科病院

16
NIIGATA
↓
p26



新潟病院訪問歯科口腔ケア科

わが国唯一の訪問歯科診療科
「訪問歯科口腔ケア科」

17
TOKYO



日本歯科大学附属病院

私立歯科大学初、附属病院の
日本医療評価機構の認定

18
TOKYO



口腔リハビリテーション多摩クリニック

わが国唯一の口腔リハビリテーション
専門医院「多摩クリニック」

19
↓
p28



マルチメディア臨床基礎実習室(新潟生命歯学部)

最先端の臨床基礎実習施設


20
TOKYO



患者ロボット「シムロイド」

学生実習用患者ロボット
「シムロイド」の開発

21
TOKYO



歯の体外培養再生

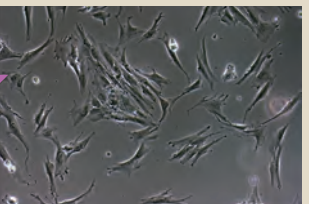
歯の幹細胞による歯の再生の研究

22
TOKYO



私立大学最初の
「特定再生医療等委員会」の設置


23
TOKYO



歯髄幹細胞

歯髄幹細胞による
肝硬変等の治療の研究

24
TOKYO



日本歯科大学 セントラルクリニック 歯髄細胞バンク 登録証

〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20
TEL: 03-3261-8626 / FAX: 03-3264-8399
E-mail: cell-bank@tky.ndu.ac.jp

歯髄細胞バンク登録証

わが国歯科大学唯一の再生医療の
ための歯髄細胞バンク設立

多 歯 多 才 な 卒 業 生

大正昭和の前衛美術運動の洋画家としても活躍した本学名誉学長中原 實(第4回卒)をはじめ、九州歯科大学学長を35年間務め、同校の中興の祖と讃えられた永松勝海(第7回卒)、昭和の新興俳句運動の旗手で、現代もっとも人気のある俳人といわれる西東三鬼(第14回卒)、台湾の中山医学大学を創立し、53年間にわたって理事長を務め、アジア随一の医学大学に育てた周 汝川(第29回卒)、学校法人青山学院の理事長を16年間務め、同校の運営をリードした羽坂勇司(第41回卒)。そして、西アフリカの農村自立ボランティア活動を現在まで25年続け、読売新聞社「医療功労賞」、毎日新聞社「毎日地球未来賞」など多数の受賞歴がある村上一枝(第54回卒)など文化面でも多才な卒業生を輩出している。

スポーツ分野では、大正9年の国際オリンピック・アントワープ大会に陸上競技で出場を果たした運見三郎(宏)(第9回卒)などがあげられる。また、競走部(陸上部)は、大正～昭和10年代にかけて箱根駅伝に17回出場し、第7回大会には総合3位の好成績をおさめている。



岡山県津山市にある西東三鬼の句碑



マリで活躍する村上一枝



大正15年頃の競走部(陸上部)

100年以上の歴史!
オンリー・ワンが
いっぱいだね。





学 ぶ

知識と技術は、車の両輪です。この2つが相まって力を発揮するのです。本学では、6年間の知識の修得を、一般教育系科目、歯科基礎系科目、臨床系科目へとグレードを上げながら、カリキュラムにしたがって学びます。知識は技術の裏付けとなるものですから、徹底的に修得することが必要です。学びの環境が整った日歯新潟で学んでみてはいかがでしょうか。



育 む

プロフェッションを意識した歯科医師をめざす

本学は創立以来、自立して歯科医療を担うことができる医療倫理観をそなえた歯科医師の育成に努めています。医学の一領域・人体の健康を担う医療人として、歯だけでなく生命体に対する医療行為として学ぶことに力を入れています。

新潟生命歯学部は、6年一貫制のカリキュラム編成にしたがい、一般教育から、基礎、臨床教育へと効率的で整合性のある講義・実習を実施しています。

さらに、自己学習能力やコミュニケーションの

能力を高めるために、PBLテュートリアル教育（問題基盤型学習）を積極的に取り入れています。

また、第5学年での新潟病院の臨床実習と並行して保健所、福祉施設、保育園でのフィールド実習も行っています。歯学生が医療チームの一員として医療行為の一部を行い、歯学生として責任を負うことによって、歯科医師となるために必要な知識・技能のみならず態度や価値観などプロフェッショナリズムを身につけることができます。



磨く

出会いは、いつも新鮮です。大学に出会い、クラスメートに出会い、教師に出会い、患者さんに出会い……。さまざまな出会いのなかで、豊かな人間性と教養人としての素養を磨き、歯科医師としての優れた見識を養うことが大切です。日歯新潟で過ごす6年間の多くの出会いによって自然と「思いやりの心」が身についていることでしょう。ここには人を育むすばらしい環境があります。

繰り返し、根気よく訓練することが技能の修得には欠かせません。講義でしっかり修得した知識が実習をスムーズに運ぶポイントです。よくいわれる、器用とか不器用とかは関係ありません。訓練次第で乗り越えることが可能なのです。できるまで、何度も何度もチャレンジすることで、歯科医師として、人として大切な忍耐力も磨かれます。たゆまぬ努力こそ、歯科医師への早道といえるでしょう。

全身を診ることのできる 歯科医師の養成



関本 恒夫
（せきもと つねお）
日本歯科大学
新潟生命歯学部 学部長

新潟生命歯学部では常に生命体との関連性を念頭におき、6年一貫性教育によるカリキュラムを編成し、口腔と全身を診ることのできる歯科医師の養成をめざしています。特に、超高齢者社会を迎えるにあたり、在宅歯科医療や口腔ケアの施行、医師、看護師、介護関係者など歯科医療従事者以外の多職種とも連携して医療が行える、地域密着型の歯科医師の育成を重視しています。

その一環として歯科病院（新潟病院）では、わが国の歯科大学で初の在宅往診ケアを実施してきた経験を活かして、学生教育に在宅往診ケアの臨床実習を取り入れています。さらに、新潟

生命歯学部は歯科病院に加え、医科病院を併せ持っており、この病院において内科・外科・耳鼻科の臨床実習を行い、医学に対する知識の習得のみならず医科と歯科の医療連携についても実際の現場で学ぶことができます。

また、新潟県は小児の齲蝕（むし歯）が10年以上連続して全国で最も少ない地域であり、平成20年には全国で初めて「歯科保健推進条例」を制定した県でもあります。

日本歯科大学新潟生命歯学部はこのような歯科保健の先進県に立地し、社会のニーズに応えられる歯科医師の養成ならびに医療機関、研究機関として幅広い社会貢献をしています。

在学生×OB対談

日歯新潟の魅力語る！

入学して2年目の鳥山君と歯科医師への道が近づきつつある4年生の竹本さん。そんな彼らにアドバイスを送るのは、訪問歯科口腔ケア科の先生で、2人のサポーター（→p17参照）も手掛ける赤泊先生。対談を通じ勉強面のアドバイスや、日歯新潟の魅力にせまります。

歯科医師をめざした訳は？



鳥山 ■先生が歯科医師になった理由は何ですか？

赤泊 ■父親が歯科医で、実家の隣が歯科医院でした。小さい時から診療室に出入りしていたことから歯科医という仕事になじみがあったということ、高校時代に進路を決める際に、父の後を継ごうかと考え、また、本学が父の出身大学だったこともありこの大学に入学しました。

鳥山 ■僕も先生と一緒に、父が本学出身で実家が歯科医院をやっています。いろいろな職業のなかで歯科医師が身近にあったことで、自然と歯科医師について興味を持って調べようになっていましたね。

竹本 ■実は私も父が本学出身で、歯科医師です。歯科医院は実家から少し離れているのですが、いろいろ仕事について父から聞いたり

して、歯科医師をめざしました。

赤泊 ■みんな境遇は似てるんだね！

竹本 ■歯科医として実際に働かれて、歯科医師の魅力はどこに感じますか？

赤泊 ■一番は患者さんから感謝される瞬間かな。今所属する訪問歯科口腔ケア科では、多くの患者さんが、体が不自由で通院できない方です。ですので、患者さんのお宅や、施設、病院などを訪問して、必要な処置をしています。症状に悩んでいるのに通院できない患者さんは、とても感謝していただきますね。人の助けになることはやりがいを感じます。

鳥山 ■訪問歯科診療に携わるようになったきっかけは何ですか？

赤泊 ■学部を卒業後、大学院で口腔外科を専攻したのですが、学んでいく中で全身疾患に触れる機会が多くなり、近年の高齢化という社会状況もあり、全身疾患と密接な関係にある高齢者の歯科治療が重要になってきていることを実感しました。そうしたことから訪問

歯科に興味を持ち、2014年に「訪問歯科口腔ケア科」が設立される際に移動の話があったのでタイミングよく配属され今に至っています。

誰もが不安な国家試験



竹本 ■話は大きく変わりますが、3年生から臨床系の実習が始まりました。特に印象採得がうまくできなくて、友達同士でやるのですが何度も採らせてもらう状況です。コツみたいなのはありますか？

赤泊 ■印象採得は研修医になっても難しいんだよね。やっぱり、相互実習が1番技術が上がると思うので、友達に協力してもらって回数を5回でも6回でも採らせてもらうことですね。

竹本 ■練習するしかない？

赤泊 ■そうだね、研修医の時も相互実習で、お互い採り合いながら練習するからね。何度もチャレンジしてみてください。

鳥山 ■今のところ教養科目が多く、中でも物理の実習が苦手なんですけど……。

赤泊 ■うーん、物理かー。実は僕も苦手だったんだよね(笑)。なので気持ちはわかります。アドバイスとしては、わからないところは先生や得意な友達に聞くのがいいかな。あとは、実習だと記録をとってノートをつけるよね。そういった習慣は歯科医師になっても大事なことなので、1年生のころからそういう習慣をつけておくといいよね。

竹本 ■まだ先なんですけど、歯科医師国家試験が徐々に近づいてきていて少し不安があるの





赤泊 圭太
あかどまり けいた
日本歯科大学新潟病院
訪問歯科口腔ケア科
北海道札幌市出身



竹本 さつき
たけもと さつき
新潟生命歯学部 4年
新潟県新潟市出身



鳥山 由樹
とりやま ゆき
新潟生命歯学部 2年
北海道札幌市出身

ですが……。

赤泊 ■ 国家試験の不安はみんな持ってるんですよ。国家試験というのは、厚生労働省で出題基準が決められていて、それは6年間で勉強してきたことの目次みたいなものなのね。まだ臨床系の科目はよくわからないと思うけど、基礎系の科目で例えば、解剖学、生化学、生理学、そういった教科は問題に出ます。なので、1回国家試験の出題基準を見てみるといいよ。

竹本 ■ はい、では今からやるとしたらどんなことでしょうか？

赤泊 ■ そうだね、国家試験の問題集を1回開いてみることだね。さっきも言ったけど、基礎系の科目ももちろん出題されるので、そういった科目を今のうちにしっかりやっておくといいです。というのも、これから臨床系の科目が入ってくるでしょ？ そうすると、臨床系の知識はすごく高まるんです。逆に基礎系の知識が不足しがちになるので、しっかりと学年の低いうちにやっておくと有利になりますよ。

鳥山 ■ 先生が学生だった頃の国家試験対策は何かありましたか？

赤泊 ■ 6年生の時は毎日勉強していました。平日は朝から夕方まで講義を受けて、それが終わるとロビーで閉館時間の11時まで勉強していましたね。

休日も朝からロビーで勉強していましたが、ある日連休でたまたま家で休んでいたら、よく一緒に勉強していた友達から電話が来て「何してるんだ！」って怒られたんですよ(笑)。それくらい、人生でこんなに勉強した

ことはないというくらい勉強しました。

竹本 ■ 考えるだけで苦しそうですね……。

鳥山 ■ 大学受験で勉強してきましたけど、こちらから先にまた同じ経験をすることになるとは……。

赤泊 ■ 大丈夫だよ。2人ともまだ先があるからがんばってこう！

日歯新潟の魅力



鳥山 ■ 先生はこの大学の強みはどんなところにあると思いますか？

赤泊 ■ 本学は学部名に「生命」が入っていますが、それは歯科医は口の中だけでなく、全身の健康状態にも目を向けなくてはいけないという意味があります。本学は研修医も学生も訪問診療に参加します。そこまでやるのは全国的にもかなり少ないと思います。また、医科病院がありますので学生のうちから手術見学などできますし、全身を学ぶ環境が整っている点は魅力的だと思います。

鳥山 ■ 他大学の歯学部に通う友人に聞くと1年生は教養科目ばかりみたいなのです。本学だと、1年生から実際の患者さんを間近に見ることができる病院見学実習があるのは強みだと思いますし、モチベーションが上がりますね。

赤泊 ■ そうだね。僕が学生のころはなかった実習なんですよ。とても有意義だと思います。

竹本 ■ 私はクラスの人数が少なく、クラスメイトみんなが仲良く、一緒に遊んだり、勉強したりというのが他大学にはないのではないかなと思います。

赤泊 ■ 大学周辺に学生が多く住んでるので、テスト前に誰かの家でみんなと一緒に勉強したりすることが多いよね。他大学に比べたら横のつながりは強いかもしれないですね。

赤泊 ■ 将来はどんな歯科医師になりたい？

竹本 ■ 一般診療に加えて、矯正やホワイトニングもできたらいいなと思っています。

赤泊 ■ それなら、研修先に審美歯科の分野が強くて、多くの症例があるところを選ぶといいね。その後大学院で矯正や保存を学んでもいいよね。

鳥山 ■ 僕は具体的には決まっていますが、研究職に就きたいなと思っています。

赤泊 ■ 今はまだ教養科目がメインだけれど、臨床系を学んでいくと気になる分野が出てきて、より専門的に学びたいと思うようになるので、じっくり探してみてください。さて、そろそろ時間なので、最後に将来後輩になるかもしれない受験生に一言。

鳥山 ■ 本学は海が近いのでよく気分転換に浜辺を走ったり、海に入ったりしています。また、緑も多く、自然豊かな環境で学べるのはとてもいいと思います。

竹本 ■ 学内の環境面も優れていると思います。実習室の机も1人1台必ずありますし、とてもきれいで充実しています。では最後に先生お願いします。

赤泊 ■ 先ほども言いましたが、本学は「生命」歯学部です。医科病院もありますし、訪問診療もあるように、全身について学ぶことができる環境です。校友のつながりも深く、一生涯にわたって学習できる大学ですので、ぜひ本学で歯科医師をめざしてください。

新潟で学ぶ 日歯大で学ぶ 学びの理想がここにある

教育、施設、環境、臨床、研究……など、
日本歯科大学新潟生命歯学部の魅力は数多くあります。
学びの理想、新潟生命歯学部のおもな特長を
ご紹介いたします。



在宅歯科医療

1 充実した臨床研修の場 ——新潟病院・医科病院

日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスには、新潟病院と医科病院があります。新潟病院は歯、顎、口腔の総合医療施設です。医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、新潟病院と同様に入院施設も備えます。本学の学生は、第5学年における臨床実習で新潟病院はもちろん、医科病院でも実習があります。近年の歯科分野は口腔だけでなく全身にも多く関係します。このような時代に即した臨床実習が行えるのは新潟生命歯学部の大きな特長となっています。

▶p24-25

第5学年の臨床実習では、東京の生命歯学部とも交流があり、新潟の学生は東京の附属病院で、東京の学生は新潟の新潟病院、医科病院で実習を行います。

▶p23



新潟病院での手術見学



医科病院での内視鏡検査見学



新潟病院で実習する東京の学生



新潟病院



医科病院

2 在宅歯科医療の先駆け

新潟病院では、開院以来地域歯科医療の拡充に務めてきました。寝たきりなどの事情で来院できない高齢者や障害者を対象として、1987年から全国歯科大学に先駆けて「訪問歯科診療」を行っています。本学の学生も、チームの一員として参加し各家庭や施設をまわり、在宅歯科医療の重要性を学びます。まだ記憶にも新しい2011年3月の東日本大震災ではいち早く被災地に医員を派遣し、口腔ケア支援活動や亡くなられた方の歯科的身元確認にあたりました。

▶p26-27



ITセンター

マルチメディア臨床基礎実習室

3 学習に適したさまざまな施設

新潟生命歯学部の学内には、いたるところに洗練された学びの環境があります。最新のIT機器やシステムを備えたマルチメディア臨床基礎実習室は第1学年から実習で使用します。自習の場としても、図書館や放課後の教室はもとより、ITセンター、学習室、セミナー室、レストラン(GAKUSHOKU)やロビーなどでも夜遅くまで学生たちが学んでいます。

▶p28-31



新潟女子寮

4 安心・安全な女子寮も完備

大学から徒歩5分という絶好のロケーションに新潟生命歯学部新潟寮(女子寮)があります。オートロックで管理人さんも常駐していますのでセキュリティ面もバッチリです。先輩も同期も歯科医師をめざすという目標を持った学生同士、ときに競い合い、ときに教え合い、ときに励ましあいながらともに学生生活を過ごします。歯科大学ならではの技工室も完備しています。女子寮ですので、もちろん女性のみ入寮可です。

▶p32



UBC(カナダ)への交換留学

中山医学大学(台湾)への交換留学

5 国際交流を重視

日本歯科大学には世界に18の姉妹校・協定校があります。特にカナダにあるプリティッシュ・コロンビア大学(UBC)とは積極的に交流を行っています。ほかにも、台湾の中山医学大学、タイのマヒドン大学、中国の四川大学華西口腔医学院などとも盛んに交流しています。また、IUSOH(口腔保健のための国際姉妹校連合)を結成し、グローバルな学術展開を行っています。

▶p34-37



医の博物館

6 国内唯一の医学博物館

医の博物館は、日本で初めての、また唯一の医学博物館として平成元年(1989)9月に開館しました。歴史的資料(史料)を通じて医学史を教育研究し、史料を一般公開することにより、学術文化に寄与することを目的としています。当館では歯科のみならず、医学や薬学に関する史料(15世紀から現在に至る東西の古医書、浮世絵、医療器械器具、薬看板、印籠など)約5,000点を展示、保管しています。第1学年の授業では、博物館見学もあります。

▶p42



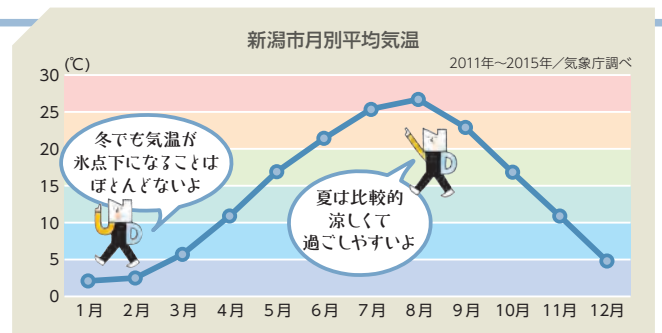
新潟まつり

やすらぎ堤の桜と万代橋

7 魅力あふれる都市、新潟

日本海側最大の都市新潟。なかでも日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスは、新潟市中央区の緑も多く残る住宅街にあります。新潟駅周辺は大型店舗やファッションビルなどが並び、多くの人でにぎわっています。交通のアクセスも良く、東京までは新幹線で約2時間、沖縄や北海道にも新潟空港から直行便があるので短時間で行き来できます。新潟市内は気候も穏やかで、1、2月でも氷点下になることはほぼなく、雪も少なく、住みやすい環境です。さらに、新潟県内にはちょっと足を伸ばせば魅力的な観光スポットも多くあり、冬にはウィンタースポーツも気軽に楽しめます。

▶p56-58



新潟生命歯学部 の 6 年間

歯学部の6年間は、知識の修得、技術の修得はさることながら、全人的医療、患者さんの立場にたった心ある医療人であるために不可欠なコミュニケーション教育を重視しています。

医療人初期教育と語学教育、PBL
テュートリアル教育を行っています。



1 学年

- 熱と物質の物理
- 生体物質の化学
- 細胞の生物学
- 基礎科学
- 自然現象の数学
- 自然科学実習
- まとめ
- 総合英語
- 実用医学英語 I (前・後)
- 基礎独語
- プロフェッション
- 熱と物質の物理 (補習と演習)
- 生体物質の化学 (補習と演習)
- 細胞の生物学 (補習と演習)
- 情報科学の実習
- 国語表現法
- 歯科医学入門演習 (PBL)
- 社会学
- 経済学
- ドイツの生活と情報
- 青年心理学
- 生活と環境
- 医学概論・歯科医学史
- ファンダメンタルスキル実習 I・II
- ヒトの一生
- 臨床から振り返る基礎学
- 健康科学
- 材料科学
- 早期臨床実習 I
- 一般教育系科目
- 歯科基礎系科目
- 臨床系科目

基礎系の歯学教育を中心に、理系の
選択科目や臨床心理学、さらに国際
性を有する医療人を育成するため、
医療英語・英語会話教育を行って
います。



2 学年

- 実用医学英語
- 英語会話 (Conversational English)
- 臨床心理学
- 原子核と放射線
- 物質の構造と反応
- 生命の連続性と遺伝子
- 生化学
- 解剖学
- 解剖学実習
- 生理学
- 感染微生物学
- 口腔解剖学
- 口腔解剖学実習
- 発生学
- 人類学
- 組織学
- 口腔組織学
- 薬物療法学
- 生体機能調節学
- 社会歯科入門
- 基礎口腔保健学
- 病理学
- 歯科薬物療法学
- 歯科理工学
- 歯科理工学実習
- 医療統計学
- 唾液と唾液腺
- 基礎歯科医学補講 I・II
- 口腔生化学
- 専門歯科治療概論
- 顎口腔運動制御学
- 食育・食術

基礎系および臨床系の科目で構成さ
れ、関連領域を統合して学ぶことを
主としたPBLテュートリアル教育も
行っています。



3 学年

- 歯科理工学
- 分子生命科学実習
- 組織・口腔組織学実習
- 生理学実習
- 生体防御学
- 感染微生物学・生体防御学実習
- 口腔病理学
- 歯科薬物療法学実習
- 地域口腔保健学
- 口腔保健学実習
- 病理診断学実習
- 口腔腫瘍学
- 歯科症候学演習 (PBL)
- 早期臨床実習 II
- 歯科矯正学
- 歯科矯正学実習
- 小児歯科学
- 歯内療法学
- 顎口腔機能診断学
- 顎口腔機能診断学実習
- 口腔顎顔面外科学
- ヒトと放射線
- 画像検査の基礎と応用
- 歯冠補綴架工義歯学
- 全部床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学
- 保存修復学
- 歯周疾患治療学



臨床系の歯学教育を中心として、さ
らに医療論理や医療法学、隣接科
学も学び歯科医療コミュニケーション
の実習も行っています。



4 学年

- 歯科法医学
- 医療倫理
- 医療法学
- 歯科医療コミュニケーション実習
- 医療情報・医療管理学
- 歯科薬理学
- 小児歯科学
- 小児歯科学実習
- 口腔顎顔面外科学
- 口腔顎顔面外科診断治療学
- 部分床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学実習
- 歯科麻酔と救急処置
- 歯周疾患治療学実習
- 全部床義歯補綴学実習
- 歯冠補綴架工義歯学
- 歯冠補綴架工義歯学実習
- 口腔顎顔面外科手術学
- 口腔外科学・全身管理学実習
- 保存修復学実習
- 歯内療法学実習
- 高齢者歯科学
- 障害者歯科学
- 歯性感染症
- 顎咬合診断・口腔インプラント学
- 口腔インプラント学実習
- 歯科医のための内科学
- 外科学
- 耳鼻咽喉科学
- 歯科心身医学
- 臨床診査・検査学



新潟病院では、各科をローテーション方式でまわり、きめ細やかな実習を行います。総合診療科では診療事務も担当することで、一般歯科、診療の基本的原理を理解し、基本的臨床能力を修得します。医科病院では、内科、外科、耳鼻咽喉科の各科で臨床実習があり、全身を学ぶ貴重な機会があります。また、診療問題の解決方法を学ぶPBL、TBL教育も行っています。

5年間で学んだ歯科基礎系科目と臨床系科目を統合し、再確認します。そして歯科医師として必要な知識と技術を身につけ、歯科医師国家試験にそなえます。

歯科医師
大学院

歯科医師
臨床研修

歯科医師
国家試験

5 学年

■臨床(病院)実習



6 学年

- 総合科目①
- 総合科目②
- 総合科目③



PBLを重視

Problem Based Learning



PBLは問題基盤型学習と訳され、少人数制で行われ、学生が自力で学習課題を発見し、それを自学自習によって解決する訓練をすることが目的です。本学では平成16年度より「PBLチュートリアル」として全国の歯学部にも先駆けて実施しています。本学のカリキュラムでは、第1学年の歯科医学入門演習と第3学年の歯科症候学演習でPBLチュートリアル教育を行っています。

TBLも採用

Team Based Learning



本学ではPBLに加え、TBLも授業で採用しています。TBLは少人数制のPBLを広い教室などで一斉に行うものですが、PBLと同様に自主的な学習が可能な授業形態で、より専門性の高いチューターのもと問題解決型の学習を行います。

BEST LECTURE

ベストレクチャー賞受賞

ヒトの一生 [第1学年]

長谷川 優 講師

はせがわ ゆう

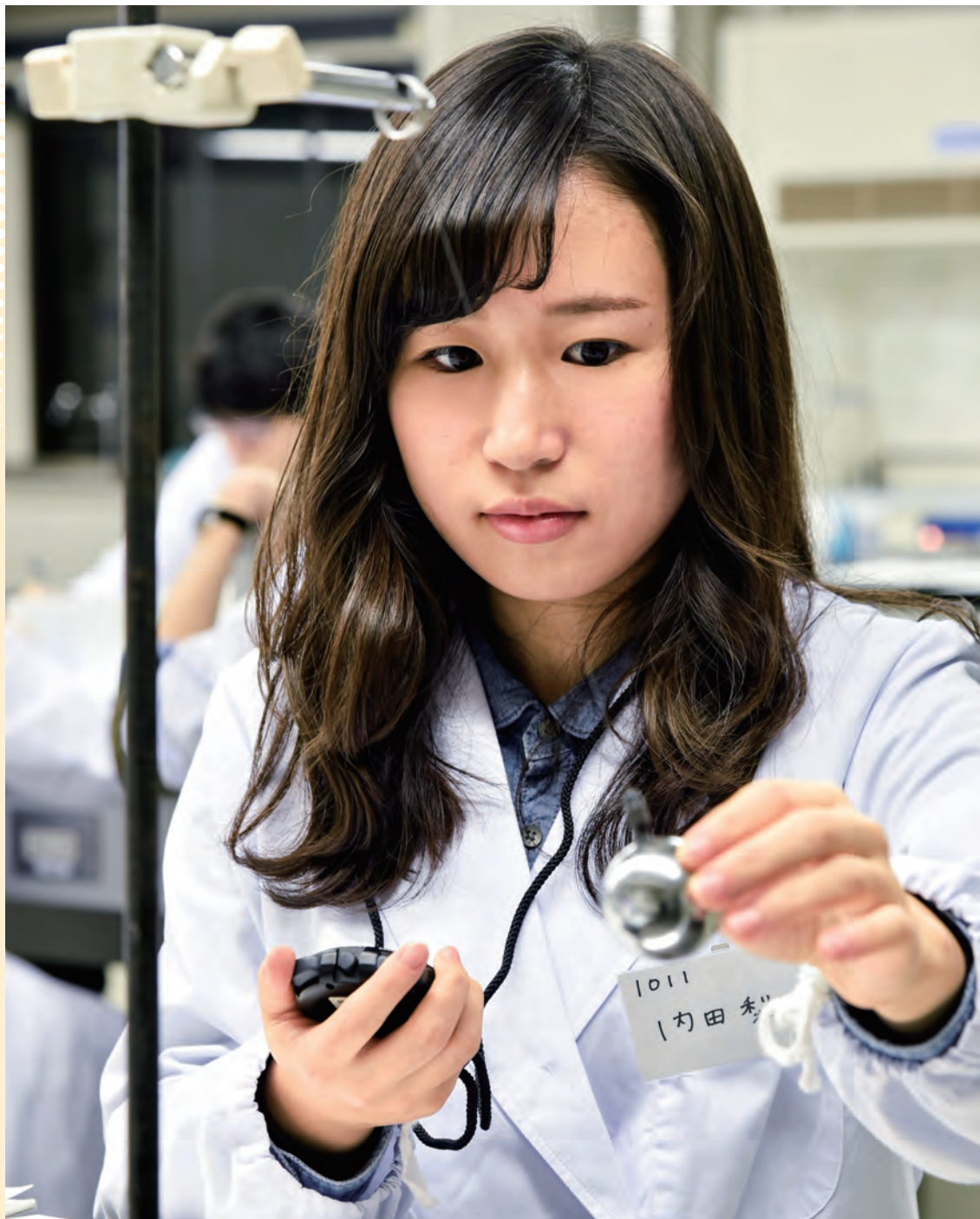


初年時教育では、これから6年間にわたり学習する知識の基礎となる部分を学びます。「ヒトの一生」の授業は、母体および新生児から高齢者まで生涯にわたり良質な歯科医療を提供するために、受精から死に至るヒトの一生について生物学的な視点から理解しつつ、歯科の領域に限定されない幅広い知識を獲得することが到達目標です。3年生や4年生で学ぶ歯科の専門分野を理解する上で、ヒトの発生・成長発達・加齢変化をきちんと理解しておくことはとても重要です。たとえば、矯正歯科の領域では成長期の患者さんを迎える機会が多く、個体の成長発育に関する正確な知識に基づいた確かな治療が求められます。

これからの歯科医師に求められる医学的な総合力を早いうちから身に付け、歯科医師国家試験に向けた効果的かつ効率的な学習をスタートできるよう、本学の教員がサポートします。

ベストレクチャー賞 ● 学生によるアンケート結果から、毎年最も評価の高かった講義に対しベストレクチャー賞を授与しています。

夢に向けたファーストステップ



内田 梨佳子
うちだ りかこ
新潟生命歯学部2年
東京都世田谷区出身

第1学年の一般教養の講義では、特に実用医学英語が好きです。前期では体の部位など医学用語を理解するのに必要な基本英単語などを学び、後期ではその知識を使って歯科に関する文章を読むことで、英語のスキルを高めることができます。

ファンダメンタルスキル実習や早期臨床実習では、実際に石膏を使用して歯科材料に触れたり、病院内部を見学して診療現場の雰囲気に触れることで、歯科医になる

モチベーションが高まります。

部活動はバドミントン部に所属していて、週3回の練習で先輩や同級生と楽しく過ごしています。大学の規模は小さいですが、その分先生との距離が近く、クラスの中も仲良く和気あいあいとした雰囲気です。

大学から海が近いので、部活の友達とよく遊びに行ったりします。大学周辺は自然が多くありとてもいい環境です。

医療人としての豊かな人間性を育む

大学に入学してまず学ぶのは、一般教育系科目。幅広い教養に裏打ちされた豊かで個性的な人間性を養い、歯科医学を学ぶために必要な知識を修得します。

第1学年から第2学年にかけて、医療人初期教育、人文・社会科学、自然科学、語学教育、情報科学の5項目を、効率よく編成された時間割にしたがって、週5日間にわたって学びます。

さらに、診療、研究で使用されるコンピュータ技術、ネットワークについての基礎的な理解をするためにコンピュータ実習も行われます。

第1学年はクラス別編成で少人数授業が行われ、学生間の交流も盛んです。



プロフェッション



プロフェッション

1年生から社会で活躍する歯科医師の先生方の話を聞き、プロフェSSIONナリズムについて議論することで歯科医師の社会的使命を認知し、職責を自覚します。



熱と物質の物理



英語会話



細胞の生物学

サポーターからのメッセージ

中村 俊美 講師
なかもら としみ
第1学年サポーター
新潟病院総合診療科



大学生になった喜びと不安の入り混じる1年生に対しては主に生活面での支援を行っています。初めて1人暮らしをする学生も多いので、朝はちゃんと起きられるか、食事はきちんととれているか、授業にはちゃんとついてきているか、友達や先輩とうまくいっているかなど、月に1回程度連絡をとり、様子をうかがっています。挨拶や目上の人に対する返事など、アドバイスをすることもしばしば。きちんとしている学生さんにとってはやや煩わしい存在かもしれませんが、サポーターの私たちにとっては、担当していた学生さんが、学年が上がるにつれてなんだか大人になったなあと感じさせてくれると嬉しくなります。講義や実習とは違って、少し距離の近いサポーター制度。素敵な歯学部生活の一助になれば幸いです。

サポーター制度……第1、第2学年の期間、6～8名の学生に対し、1名のサポーター(臨床系若手教員)を配し、就学中の勉学・生活両面のサポートを行っています。

一般教育系教授

鈴木 常夫
化学 [理学博士]

長田 敬五
初年次教育担当
[教育学修士・博士(水産学)]

歯科医師としてのベースを構築



野口 裕太
のぐち ゆうた
新潟生命歯学部4年
東京都中央区出身

第3学年では、歯科基礎科目の学習に加え、歯科矯正学や歯内療法学などの臨床科目の学習も増えてきます。臨床科目の講義は、将来歯科医師になった際に活かせる知識を得られるだけでなく、実際の臨床の現場での経験談を先生方から聴くこともできるため非常に興味深いです。さらに、講義だけでなく関連した実習も行われ、教科書で学んだことを、自分の手を動かし自分の目で見て実際に経験しながら学べるので、しっかりと修得することができます。

所属するスキー部では、日本歯科大学の東京校や他大学とも合宿を行っているため、本学以外の学生とも交流ができ、大変良い刺激を受けています。部活動の話に留まらず、お互いの生活や勉強の話など、さまざまなことを相談できる一生涯の友人もできました。また、外国人交換留学生との交流を通じ、視野も広がりました。このような恵まれた環境を活かし、将来は歯科医療を軸として世界中の人々の健康に貢献する立派な歯科医師になりたいと思います。

歯科医療の基礎を徹底して学ぶ

歯科基礎系科目では、歯科医学の専門的知識をより深く追求します。授業は、講義と実習がセットになって行われ、実習では、教員の数もより多く、きめ細かな指導が特徴です。これらを通じて、これからの歯科医療人としての見識と、幅広い知識と技術の修得を目標としています。

第1学年から第3学年にかけて、3つのジャンルの種々の科目を履修します。例えば、「口腔保健学」では、健康の概念、健康と社会・環境、予防と健康管理について学びます。「分子生命科学」では、基礎的な分子生命科学と口腔生化学分野の講義と実習を中心に学びます。「材料科学・歯科技術工学」では、歯科材料の使用工程と基本的な取り扱い方法や歯科修復や治療に使用される材料について基本的な使用方法を修得します。



病理診断学実習



歯科症候学演習 (PBL)



ファンダメンタルスキル実習 I



ファンダメンタルスキル実習 II

ファンダメンタルスキル実習は I (コミュニケーションスキル) と II (ハンドスキル) があり、歯科の基礎となる実習を第1学年から行っています。



口腔腫瘍学



口腔解剖学実習

サポーターからのメッセージ

荒川 いつか 助教
第2学年サポーター
新潟病院総合診療科



第2学年では解剖学実習を通して医療人としての意識が高まり、歯科基礎系科目の講義や実習により歯学生として臨床を学ぶ上での基盤となる重要な学年です。また、国際性を育成するために実用医学英語や英語会話教育の科目もあります。科目数が増えるため、毎日の予習・復習や定期試験に向けての早めの準備が必要です。そして、学年末に総合試験(第2、3、5学年末に実施するコンピュータによる試験)を受けることになっています。

第1学年と比較し講義の課題や部活動などで忙しくなり、日々の生活に追われる学生が増えてきます。新たな悩みや不安に対して、サポーターとして定期的に面談や連絡を取り合い、学生たちがより良い大学生活を送れるようにサポートをしています。サポーター会議では、さまざまな意見を聞くことができるため、私も多くの経験を積んでいます。

歯科基礎系教授

影山 幾男 解剖学1 [医学博士]	葛城 啓彰 微生物学 [歯学博士]
笹川 一郎 解剖学1 [歯学博士]	仲村 健二郎 薬理学 [歯学博士]
石山 巳喜夫 解剖学2 [歯学博士]	小松崎 明 衛生学 [歯学博士]
岩崎 信一 生理学 [歯学博士]	宮川 行男 歯科理工学 [歯学博士]
岡田 康男 病理学 [歯学博士]	

毎日の実習で技術の向上を実感



西原 未城
にしはら みき
新潟生命歯学部5年
山口県宇部市出身

第4学年になると、第5学年に行われる病院実習に向けて臨床系科目の実習が増えます。今まで座学で学んできた科目について、実習を行うことにより、歯科診療を行う上での基礎知識、技術のさらなる向上につながっています。

診療に必要な科目はもちろんのこと、入れ歯などの補綴物を実際に作ることや、他校ではなかなかできないインプラント実習も組み込まれています。また、コミュニ

ケーションスキルを磨くための実習もあり、専門的なこと以外にも将来的に必要となるスキルの習得もできます。中には難しかったりする内容の時もありますが、先生方が優しく教えてくださるので、わかりやすく実習を進めることができます。

年度末にはCBTやOSCEといった共用試験を控えているので、友達と知識などを共有し合い、毎日一生懸命勉強しています。

技術を習得して着実に歯科医への道を歩む

臨床系科目は、一般教育系科目と歯科基礎系科目で習得した知識と技術をもとに、臨床に即した知識と技術を習得し、豊かな人間性を持った歯科医師を養成することをめざしています。

臨床基礎実習は、最新設備をそなえたマルチメディア臨床基礎実習室で行われます。すべての学生の能力を最大限に引き出すため、学生8名に対して教員1名という、きめ細かい指導体制が整っています。

医科病院には、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔のみにとどまるのではなく、全身を総合的にとらえて治療しなければならない、という日本歯科大学の基本的な考え方がここにも表れています。



早期臨床実習 I



歯科医のための内科学

臨床系科目の中には早期臨床実習 I があり、第1学年から新潟病院・医科病院で実際の医療の場を見学します。



口腔インプラント学実習



歯内療法学実習

教務部副部長からのメッセージ

中原 賢 准教授
なかはら けん
新潟生命歯学部
教務部副部長



歯科医師になるための6年間には、学ばなくてはならないことが多くあります。大きく分けると、知識、技能、態度の3つになります。知識、技能に関しては、講義や実習でその大半を身につけていくことができます。しかしながら、態度の習得は非常に難しく、その中でもコミュニケーションスキルが、歯学部卒業時の能力として最も不足していると言われてます。近年、本学では、そのスキルアップに力を入れて教育を行っています。

これからは、さまざまな職種との医療連携が必要となってくる時代です。先に述べたコミュニケーションスキルが、今以上に重要視されるようになるでしょう。それに対応できる意思の伝達、自分を表現できる人材が求められています。社会のニーズに合う医療人、また歯科医師として社会に貢献できる人材を輩出するよう、私たちは日々、学生指導に努めています。

歯科臨床系教授

五十嵐 勝 歯科保存学1 [歯学博士]	田中 彰 口腔外科学 [歯学博士]
新海 航一 歯科保存学2 [歯学博士]	佐野 公人 歯科麻酔学 [歯学博士]
佐藤 聡 歯周病学 [歯学博士]	遠藤 敏哉 歯科矯正学 [歯学博士]
小出 馨 歯科補綴学1 [歯学博士]	土持 眞 歯科放射線学 [歯学博士]
渡邊 文彦 歯科補綴学2 [歯学博士]	関本 恒夫 小児歯科学 [歯学博士]

診療の実際を経験して



沖 宜孝
おせ のぶたか
新潟生命歯学部6年
栃木県さくら市出身

5年生になると、学部に隣接する新潟病院で臨床実習が始まります。

4年生までは模型を使った実技や、同級生との間でのコミュニケーション実習でしたが、病院では実際に患者さんの口の中を診察させていただきます。

4年生までに学んだ基礎科目、臨床科目の知識と技術を総動員して、日々の診療の場で活かしていく必要がありますし、予習や復習などでわからない箇所を補って

くのも重要になります。麻酔科や矯正科、放射線科など各専門科での実習のほかに、訪問歯科口腔ケア科での訪問歯科にも実際に参加することができるので、学ぶことが多く大変ですが充実した日々を過ごすことができます。

さらに、新潟生命歯学部の臨床実習では歯科に関する内容だけではなく、医科病院において内科や耳鼻咽喉科、外科で問診や手術の見学なども行うことができます。

教師の熱い思いを受けとめて、夢の実現をめざす

5学年に進級すると、実際の病院で臨床実習がはじまります。歯科医師への道も、いよいよ見えてきます。

新潟病院では、総合診療科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科、歯科麻酔・全身管理科、放射線科があり、ローテーション方式でそれぞれの科で、実際の検査や治療を通じて、患者の立場に立った医療人としての知識・態度、そしてそれに応じた技能を修得させるよう努め、臨床実習の効果をあげています。

医科病院では、診療科として内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔と全身とのかかわりを意識した実習をとおして、総合的で実効的な実習として教育効果をあげています。これも、本学ならではの大きな特色です。



外科手術見学



総合診療科での実習



口腔外科手術見学

新潟・東京両生命歯学部で交換実習

新潟、東京の両生命歯学部の臨床実習生(第5学年)を、それぞれの病院の特徴的な診療科へ派遣し、実習を行う交換実習があります。新潟病院では、訪問歯科口腔ケア科を中心に実習が行われ、東京では小金井市にある口腔リハビリテーション多摩クリニックにおいて、外來の嚥下造影検査や構音機能訓練などを見学します。

新潟と東京両学部の親交も深まり、参加した学生のあいだで好評の実習となっています。



多摩クリニックで診療室の見学をする新潟の学生

副病院長からの
メッセージ

message



黒川 裕臣 教授
くろがわ ひろおみ
新潟病院副院長

診療参加型の臨床実習(Chair side Learning=CSL)が第5学年次で行われます。第4学年次までに学んできた知識と技術が臨床実習と直結する充実した1年です。基礎と臨床科目の復習と予習が重要です。教科書に書かれた知識や技術だけでなく、患者さんとのコミュニケーション、医療人としての倫理、安全管理など、最新の知識や技術も学びます。同級生とのチームワークも大切です。臨床実習を通して、将来の歯科医師像をより具体的に構築し、実現に向けて大きく前進する学年です。積極的な行動によって幅が広く深い知識と技術などを習得することができます。

指導教員は、十分な知識・優れた技術・倫理的な態度を有する歯科医師を育成すべく、先輩歯科医師としての経験を活かして教育と指導を行っています。

医科臨床系教授

大竹 雅広
外科学【博士(医学)】

大越 章吾
内科学【医学博士】

五十嵐 文雄
耳鼻咽喉科学【医学博士】

診療科教授

宇野 清博
総合診療科【歯学博士】

河野 正己
口腔外科【歯学博士】

江面 晃
総合診療科【歯学博士】

藤井 一維
歯科麻酔・全身管理科【歯学博士】

黒川 裕臣
総合診療科【歯学博士】

寺田 真人
矯正歯科【歯学博士】

山口 晃
口腔外科【歯学博士】

新潟病院



全身麻酔による口腔外科手術

医療連携を推進し、地域歯科医療に貢献する

新潟病院は、歯・顎・口腔の総合医療施設として、総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科、矯正歯科、小児歯科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、入院治療のための病床42床をはじめ、全身麻酔可能な中央手術室、CT、CBCT、MRI、RI、Linac放射線治療装置などの高度高額医療施設を設備しています。さらに診療センターとして障害児・者、睡眠歯科、口腔ケア機能管理を有し、

特殊外来として白い歯、特殊歯周病治療、スポーツ歯科、いき息さわやか、あごの関節・歯ぎしり、口のかわき治療、歯科アレルギー治療、歯科鎮静リラックス、顎のかたち・咬み合わせ外来があり、多様化する高度専門歯科医療に対応しています。また地域歯科診療支援病院として、歯科の三次医療機能に加え、地域の医療機関や福祉施設との連携を強化し、積極的に地域の多職種連携医療、在宅歯科医療を推進しています。



小児歯科



インプラント手術



白い歯外来

将来の歯科医師人生を 占う病院実習



山口 晃
やまぐち ありあき
新潟病院病院長
口腔外科教授

第5学年次の4月から、新潟病院における臨床実習が始まります。

この実習は、それまでの模型を用いたシミュレーションと異なり、実際に患者さんの診療に参加して実体験する実習です。そのためには、第4学年末にある全国統一の共用試験をクリアし、患者診療を行うことができる知識、技能、そして態度を備えていることが最低条件です。臨床実習で患者さんから学ぶべきことは、限りなく多く、そして深いものがあります。

しかし、一方で、それは学ぶ側の心持ち1つで大

きく変わります。常に、患者さんの苦しみや訴えに耳を傾け、最善の治療ができるように勉強し、技術を磨く。そうした準備の下での実習と、ただそこにいるだけの実習では雲泥の差があります。まさに、実習の成果は自分自身にかかっています。そして、それは実際に歯科医師になった後の諸君の人生を予言しているのです。

医療にこれでいいというゴールはありません。生涯勉強、生涯研修の歯科医師人生のスタートラインに立つための、とても大変だがとても魅力的な実習が病院実習です。

医科病院



外科手術

生命歯学の実践

医科病院は昭和55年、日本歯科大学新潟歯学部の歯科医師育成機関として開設され、診療科は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、入院治療のための病床50床が設置されています。MRI、CTなどの診断装置を駆使し、内科、外科では肝、胆、脾疾患ならびに消化器系を中心とした、また耳鼻

咽喉科では高度難聴の施設基準を満たし、高度な医療を提供しています。

日本歯科大学新潟生命歯学部では、歯科医学と医学の融合を図るため、一般医学の講義に加え、医科病院における医科研修を行っており、ほかの歯科大学には見られない大きな特色となっています。



内視鏡検査



内科回診



内科診療

全身を学ぶ



大越 章吾
おおこし しょうご
医科病院病院長
内科学講座教授

医科病院は内科、外科、耳鼻咽喉科からなり、50床の入院病棟があります。5年生のカリキュラムには医科病院の臨床実習が組み込まれており、各科で診療の実際を経験することができます。

内科では外来および病棟で患者さんに接し、問診、全身所見の評価、各種検査所見の分析から治療までを系統的に学習します。また消化管内視鏡検査、超音波検査など、各種検査を見学します。

外科では入院患者さんの治療に同行し、さらに手

術室に入って手術を見学して疾患の理解を深めます。

耳鼻咽喉科では外来診察と手術見学を行います。耳鼻咽喉科は歯科との隣接領域ですので、貴重な経験ができます。

高齢化社会を迎え、多くの合併症を持つ患者さんの歯科治療を行う機会が増えています。医科病院での臨床実習は、全身状態を考慮に入れて、安全、的確な治療を行うことができる歯科医としての基礎を学ぶ絶好の場といえます。

地域に密着し「健やかに生きる」を支える歯科医師へ



出発前の打ち合わせ



施設に到着、往診器具とともに施設内に



診察後カルテを整理



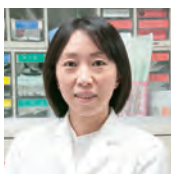
先生の指導のもと患者さんの口腔ケアを行う

求められる地域に密着した在宅歯科医療

現在、わが国では、急速に少子高齢化が進行しており、国民の医療や介護の需要が、ますます増加することが見込まれて社会問題になっています。そこで、国の施策として、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提

供される「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。これに応じて歯科界でも、地域ぐるみで要介護者のための在宅歯科医療の充実と、医療・介護との連携強化が求められています。そのため、地域で働く歯科医師にとって、訪問歯科診療と訪問口腔ケアの知識と技術の習得は必須のものになっていくでしょう。

超高齢社会に対応できる 歯科医師に



白野 美和 准教授
新潟病院訪問歯科
口腔ケア科科长

新潟病院在宅歯科往診ケアチームは、平成26年4月からは診療科に移行し、本邦初となる訪問歯科診療専門の診療科「訪問歯科口腔ケア科」となり、4名の専従歯科医師と専任歯科衛生士4名、専任看護師1名を中心に総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科の担当歯科医師を加え訪問歯科診療を行っています。

在宅医療の中で歯科医療の供給は不足していると言われており、これからの歯科医師は在宅歯科医療に必要な知識・態度・技能の習得が必要とされてい

ます。

訪問歯科診療の場において歯科医師は全身的な医学知識や介護に関する知識を持ち、他職種と連携をとることが必要であり、歯科治療のみならず誤嚥性肺炎の予防や摂食・嚥下リハビリテーションなど多方面の管理を要求されるようになってきました。

平成22年度に全国に先駆けて歯学部5年臨床実習生の訪問歯科診療実習と臨床研修歯科医の訪問歯科診療研修を必修化し、在宅歯科医療を学ぶ絶好の環境を提供しています。

「地域」と「連携」をキーワードに

新潟病院では、昭和62年9月に在宅歯科往診ケアチームを全国歯科大学に先駆けて設置しました。その後25年以上にわたり、地域の要介護高齢者や障害者の訪問歯科診療や口腔ケアに従事し、多くの社会福祉施設において無料歯科検診を行うなど、地域歯科保健医療に寄与してきました。そして、この長年にわたる経験は、平成16年の新潟県中越地震、同19年の中越沖地震さらに平成23年の東日本大震災などの大規模災害時に、被災地へ赴き、被災者への応急歯科診療と口腔ケアを行うなど多方面に役立っています。このよ

うな種々の活動は、第60回新潟日報文化賞や第63回保健文化賞を受賞するなど、高く評価されています。

チームは、平成26年4月から訪問歯科口腔ケア科として、専従歯科医師4名、専任歯科衛生士4名、専任看護師1名を中心に診療体制を強化しました。地域歯科医療支援室と連動して、地域の医療や介護分野など他職種や歯科医師会と連携を強め、地域における在宅歯科医療の後方支援を担いながら、医療・介護と歯科医療を繋ぐ役割を果たすことが期待されています。

他職種と連携できる歯科医師を育成

現在、他職種と連携し、口腔と全身を診ることができる歯科医師の育成が求められています。歯科医師も全身の健康を支える医療チームの一員として、在宅医療や介護をはじめさまざまな職種に関わり、共に支えていく新時代に突入しているのです。そこで新潟病

院では、第5学年次の臨床実習において訪問歯科診療を必修化し、臨床実習生が、実際に医療、介護従事者が集まり在宅療養患者のために開催される退院時カンファレンスに参加するなど、地域医療の現場で、連携の重要性を学んでいます。



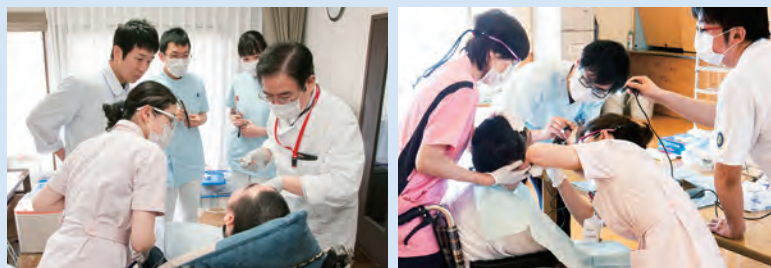
中越地震避難所での診察



東日本大震災避難所での診察



施設での診察。患者さんの声を聴くことがまずは大切



訪問歯科診療を必要とする患者さんは少なくない

訪問歯科診療の大切さを実感



阿久津 里沙
あぐつ りさ
新潟生命歯学部6年
群馬県桐生市出身

第5学年では、臨床実習の一環として訪問歯科診療に参加させていただきました。当日は、先生方とともに介護老人保健施設に専用車で向かい、訪問先では診療に必要な器具機材を持ち込みました。

患者さんの血圧・脈拍の測定をし、診察を見学しました。最初に既往疾患、服薬内容などとともに当日の全身状態を把握して、診療されていました。1人ひとりの患者さんの病態は異なるため、診療方針も異なり、加えて、限られた器具機材の中で診療を行うため、病院での診察とは違う難しさがあると感じました。

また、口腔ケアをさせていただき、患者さんの口腔機能を維持するためには他職種との連携も必要であると思いました。

診療後の患者さんの笑顔を見ると、とてもやりがいのある仕事であると感じました。

高齢化が進む現在、QOLの維持、向上に少しでも貢献できるように自己研鑽を積んでいかなければならないと思った実習でした。とても貴重な体験をさせていただきました。

最新の 設備を誇る 教育環境

マルチメディア臨床基礎実習室

1号館2階には、最新のIT機器を設置した、今までに例を見ない最新のシステムをそなえた、多機能の「マルチメディア臨床基礎実習室」があります。この実習室では、Windows PCを搭載した実習机120台と治療用歯科ユニット12台、フットペダル式水洗ユニット12台、IT示説室をそなえています。

技工作業コーナーも充実しており、石膏操作、^{りゅうくわ}鑄造、流鑄作業、X線デジタル撮影もでき、実習時間外には学生技工コーナーで課題を行っています。

実習机には最新式歯科治療機器と口腔内カメラ、乾湿サククション装置、マネキンが装備されており、技工作業と臨床手技シミュレーション作業が実施できます。

ITセンター



IT教室1と2の間のパーテーションを一時撤去することで、1学年全員がパソコンを使用した授業を行えます



指静脈登録によりITセンターに入室します

ITセンターはキャンパス内の2号館2階にあり、IT教室1には情報科学の実習に使用されるWindows PC56台、IT教室2には学生が自由に使用できるPC48台が常設してあります。特にIT教室2は、試験に関係した特別な期間を除いて、休日を含めて朝7時から夜11時まで使用可能で、指静脈登録を行った学生が自由に入室してコンピュータを使用することができ、学生には好評です。

IT教室1、2は、パーテーションを一時撤去することで104台のPCを同時使用できる環境にあり、コンピュータ試験なども実施しています。

本学では e-Learning にも力を注ぎ、CAIシステム*による国家試験問題も学生に好評です。

*CAIシステムは、サーバーに過去の歯科医師国家試験問題約6400問が記録されています。各問題の正答、選択肢解説が収録され、学生が問題を選んで学習したり、コンピュータが任意で選んだ問題で試験を受けるなどの機能を持つすぐれた自己学習ソフトです。



スマートフォンによる双方向対話型授業

スマートフォンによる学生支援システムを出欠席管理、情報配信、さらにソクラテス型(双方向対話型)授業に利用しています。出欠は授業の前後に、専用アプリから各自がタップすることで管理しています。

ソクラテス型授業は、講義中に提示した多肢選択問題の解答作業をスマートフォンで行い、教員がその解答状況をリアルタイムに知ることができます。さらに、掲示板、学生の呼び出しにも活用されています。



スマートフォンを使用した授業出席登録

ソクラテス型授業



解答結果はリアルタイムでデータベースに採択・採点・集計され、その結果は教員の手元のパソコンに表示されます。学生の理解度に応じた授業を、効果的に行っています。



マルチメディア臨床基礎実習室

**授業を
受けるのが
ワクワクする
実習室**



佐久間 慎
さくま けん
新潟生命歯学部2年
新潟県村上市出身

マルチメディア臨床基礎実習室は第1学年では、後期のファンダメンタルスキル実習という授業で、週に一回使用します。

実習室には歯科医院に揃えられているのと同じ器具が並んでいて、机に向かうと歯科医師になったような感じがしてワクワクします。

実習は各机に一台ずつ設置されたモニターで、先生のお手本を見てから行きます。そのため、実習中に何をすればいいのかわからないということもありません。

また、私たちが使用しやすいように、器具が理想の位置に配置されていることには感動しました。この実習を行うことで、歯科医師になりたいという気持ちがより一層強くなりました。1年生の段階で、歯科医師に近い実習ができる環境があることはとても素晴らしいと思います。

**充実した
設備で
やる気も
向上!**



小林 彩利
こばやし あゆり
新潟生命歯学部5年
新潟県新発田市出身

第4学年での臨床実習は、毎日マルチメディア実習室の充実した設備を利用して行なわれています。

実習ではインストラクターの先生のデモンストレーションが全ての実習機のディスプレイに表示されるため、デモが位置によって見えないという心配もなく、先生の説明を細部までもれなく見ることができ、正確な手技を獲得することができます。実習を通して教科書で学んだ知識が臨床に直結するようイメージ付けができるので良いと思います。

また、実際の歯科治療器具や歯科ユニットを使用した実習により、歯科医師という目標も明確になり、やる気のさらなる向上につながり充実しています。

学習を サポートする 施設



図書館

図書館は、本館3階および1号館の書庫と、本館2階と3階にある閲覧室からなり、オーディオ室も附設され、約8万5千冊の蔵書、469タイトルの学術雑誌があります。

また、学内からフルテキストにアクセスできるオンラインジャーナル(日本語・欧文)のほか医学のあゆみ、日本医事新報、日本臨床など国内発行の医学雑誌、学会誌450誌以上のフルテキストとアブストラクトが閲覧可能なメディカルオンラインも利用できます。





学習室

図書館1階の学習室は、静寂な環境で、机上がパーテーションで区切られており、落ち着いて学習できます。また、LAN端末が設置されており、ノートパソコンを持ち込めば、インターネットにも接続できます。



インターネットの環境も整備されています



IT教室2

ITセンターのIT教室2は土日祝日も、午前7時から午後11時まで開放されています。



セミナー室

セミナー室は、4号館2階に12室あり、グループ学習や、夜間の課外勉強などに利用できます。



GAKUSHOKU

GAKUSHOKUは、夜間も自習する学生のために開放されています。



ロビー

各講義室前のロビーには、造り付けの机と椅子のほか、移動可能な机と椅子が設置されています。

多くの
学べる環境が
整っています!



福田 悠
ふくだ ゆか
新潟生命歯学部3年
群馬県邑楽郡出身

大学には図書館やITセンターなどの情報収集に優れた環境が整っています。

図書館には古い専門書から最新のものまでたくさんの資料があります。そのため、教科書では補いきれない知識をここで得ることが可能です。ITセンターは冷暖房完備かつ静かな環境なので、多くの学生が自己学習や調べもののために訪れます。さらに図書館1階には学習室が併設されており、集中したい時に私も利用しています。

自習に
おススメの
ITセンター!



西澤 義樹
にしざわ よしき
新潟生命歯学部4年
兵庫県加古郡出身

本学にはさまざまな学習に適した施設があります。中でも私はITセンターをよく利用します。

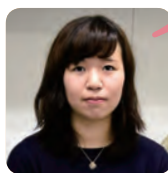
ITセンターはその名の通り、インターネットにつながるコンピューターが複数台あり、1つの机に一台ずつ置いてあります。そのため、自習中に調べ物があればすぐに調べることができ、レポートの作成も役立ちます。

また、土日祝日も開放されていますので、自習するにはもってこいの施設です。

新潟女子寮



すべてが
満点のステキな
女子寮です!



七里 茉耶
しりやま まや
新潟生命歯学部 2年
新潟県長岡市出身

日本歯科大学の女子寮は、大学から徒歩5分ほどの距離にありますので毎日快適に通学することができます。

初めての1人暮らしで心配でしたが、寮には優しい寮母さんがいて声をかけてくれますし、玄関はオートロック式で、各部室にもカードキーが備え付けてあるのでセキュリティ面も万全で安心です。

各部室は完全個室制でエアコンや冷蔵庫、キッチンとバス・トイレが設置されているのでとても過ごしやすいです。寮内には共同で使えるランドリー室もあって、洗濯機・乾燥機が完備されているのでとても便利です。

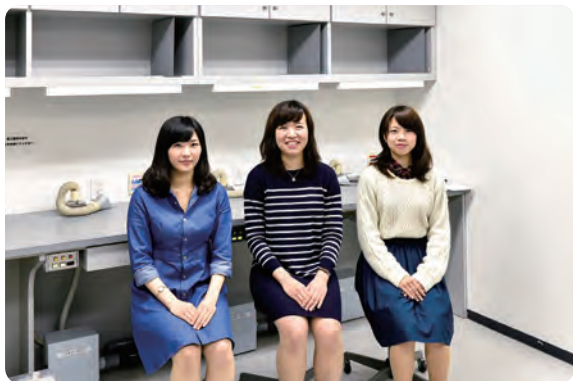
今年度は女子寮に1年生がたくさん入寮したので、仲良くみんなで和気あいあいと楽しく過ごしています。学校の課題や宿題などを友達同士で教えあったりできるので、勉強にも大変良い環境です。

玄関を入ったロビーには自動販売機、コピー機とソファがあって、友達と集まって飲み物を飲みながらワイワイとおしゃべりしたりする場所になっています。さらに寮には実習課題をやるための技工室もあるので、先輩たちがよく実習の課題を寮に戻ってから行うのに活用しています。

今年度は交換留学生の方々が女子寮に泊まる機会があったので、留学生の方々と楽しく交流することもでき、大変よかったです。



ロビーは楽しいおしゃべりの場にもなります



歯科大ならではの歯科技工室もあります

玄関はオートロック式。個室はカードキーを使用します



名称	日本歯科大学新潟生命歯学部新潟寮
所在地	新潟市浜浦町
通学時間	新潟生命歯学部より徒歩約5分
建物	地上3階
敷地	999.5m ²
室数	30
入寮費	7万円
寮費	月額3万5千円(光熱費など自費)
寮室	Aタイプ: 21.08m ² Bタイプ: 23.46m ²
居室備品	冷蔵庫、ミニキッチン、電気調理器、棚板、机、本棚、ベッド、ミニ筆筒パイプハンガー、バス、トイレ
共用	共同実習室(技工室)、ランドリー室、ごみ収集室、プレハブ倉庫、自転車置き場

みなさんがめざす歯科医師。その歯科医師の仕事も多岐にわたっています。ここでは、卒業してまだ間もない若手の歯科医師の先生に、現在のお仕事から、大学時代の思い出などを語っていただきました。将来歯科医療を志すみなさんの参考にしてはいかがでしょうか？

「なりたい自分」をしっかり持って!

歯科医師であった両親の姿をみて育ったため、気がついた時には歯科医師となることを目標としていました。しかし、大学には入ったものの、将来の仕事を決める時期としてはまだ早く、入学後も進路について悩むことはありました。そんな私とともに入学した同級生や、学生生活を支えてくれた大学の先生方の教えによって大学で生活を送るうちに、不安な気持ちや悩みは1つずつ消え、4年生を終える頃には「歯医者になってからどうしたいか」ということも考えるようになりました。今思うと、日本歯科新潟という環境だったからこそ、きちんと悩んで将来の夢につなげる過程を大切にできたのだと思います。その過程を疎かにしてしまっている、6年間の学生生活をやり遂げることは難しかったかもしれません。

大学時代の思い出はたくさんあり困ってしまうのですが、とにかくアットホームでしたね。



疾患を持つ患者さんを診療する機会も多いため、診療ユニットには血圧計がついている。



5年生の春休みにはブリティッシュ・コロンビア大学に短期留学で滞在した。



麻酔学グルンドが参加している学外勉強会。歯科以外の分野についても学べる貴重な機会だった。

私はワンダーフォーゲル部、UBC、バドミントン部、SCRIP、麻酔学グルンドといろいろな部活に所属していました。バドミントン部は普段、サークル活動程度ですが、夏休みの合宿が辛かったのをよく覚えています。その分、部員の絆も強く、飲み会もありとても楽しかったです。練習後にトレーニングを兼ね、走って焼肉屋まで行って先輩にご馳走になったこともありましたね(笑)。

UBCは、夏にカナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)から来る留学生と新潟まつりなどを通じて国際交流をはかる部活です。5年生の春休みにはUBCに短期留学する機会も与えていただき、診療の様子や授業などカナダでの生活を体験することができました。UBCで出会った友人たちとは卒業してもなお、連絡を取り合っています。つい先日には、UBCを卒業したパディ(留学先でお世話をしてくれた担当の学生)の結婚式に参列するためにラスベガスに行ってきました。

麻酔学グルンドは、実は5年生の時に私が創部したものです。学外の救命救急の勉強会に参加した時に、医学科や看護学科、薬剤科など、全国各地から将来医療に関わる学生が集まり、医療者に必要な知識を学ぶ勉強会の様子に感動して、うちの大学の学生にもこの活動を知ってほしいと思い創部しました。将来の仕事はそれぞれ違いますが、救命という1つの目標に向かって一緒に取り組むこと、その熱にぜひ触れて欲しいと思います。学外の医療系学生たちとともに学べる部活は、全国の歯学部でも麻酔学グルンドだけかもしれませんね。

麻酔学グルンドでの活動などを通じ、歯科医師になる私ができることは何だろうと考えるようになりました。1つは正確に口の中を診断できるようになること。もう1つは、口だけでなく、全身についても診ることができるようになることが重要だと思い、今の医局に入りました。

現在私は、東京医科歯科大学の大学院歯学総合研究科の高齢者歯科学講座に所属しています。午前は補綴の専門の先生のもと外来診療をし、午後は自分の研究分野の全身管理について指導医の元で勉強しています。この講座では、有病高齢者の歯科治療を専門とし、口の中についてだけでなく、全身の病気につ



京坂 侑加 先生
東京医科歯科大学
歯学総合研究科
高齢者歯科学講座
宮城県塩竈市出身

平成26年度新潟生命歯学部卒業(103回卒)

いても学ぶことができます。全身管理の勉強をしていると、さまざまな全身的な病気をかかえる患者さんに対し、例えば、使用している薬・ダメな薬、何が異常で何が安全なのか、など、少しずつ自分の知識にたまっていくことにやりがいを感じます。そのような知識の蓄積により、自分が安心して治療できるし、だからこそ患者さんも安心して治療を受けてくださるのだと実感しています。

将来は、ここで学んだことを地元を持って帰ればと思っています。特に地方では、交通網も十分でないため介助なしでは移動が難しく、大学病院に通うことが困難な患者さんがたくさんいます。一般の開業医さんよりも専門的な知識を持ち、地域の高齢者医療に貢献できる歯科医師として、生まれ育った地元に戻元できればと考えています。

新潟生命歯学部は夢がかなう環境が整っています。将来の目標ややりたいことがあれば、先生をはじめ助けてくれる人もたくさんいます。私を含め、全国にいる卒業生がいざという時には力を貸してくれます。ぜひ、本学で「なりたい自分」をみつけて、夢をかなえてください。みなさんのことを心から応援しています。

国際交流



吊橋で有名なキャピラ川広域公園にて



新潟まつりの市民神輿に参加



UBCの附属病院を見学



UWの実習室でDr. Daniel Chanと



茶道を通して和の精神に触れます



新潟まつりの民謡流しに挑戦

ブリティッシュ・コロンビア大学との連携

交換学生制度は1986年に始まり、27回目を数えます。本学の学生が姉妹校のカナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)と米国・ワシントン大学(UW)を訪問し、研修と親睦を図る本学独自の教育システムです。

相互訪問は毎年、本学の学生は3月に、UBCの学生は7月に行われます。

UBC・UW交換留学生

国際性豊かな 歯科医師をめざして



武内 柚香里
たけうち ゆかり
平成28年
新潟生命歯学部卒業
新潟県加茂市出身

5年生の春休み、3月7日から2週間のスケジュールでアメリカのワシントン大学(UW)とカナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)に訪問しました。

UWでは短い期間でしたが、現地の先生に大学構内を案内していただいたり、お昼にはUWの学生さんとランチをしながら交流しました。

その後向かったUBCでは、歯内治療学や麻酔学の講義を受講させていただき、歯学部附属病院では臨床基礎実習や診療、専門外来やエックス線撮影室を見学しました。UBC滞在時は、「パディ」と呼ばれる担当の学生さんがついて、ホームステイをはじめ、私たちのお世話をしてくれました。暖かく心のこもったおもてなしをしていただき、滞在中は何不

自由なく、充実した生活を過ごすことができました。今回の交換留学の経験を活かし、将来、国際性豊かで視野の広い歯科医師をめざしていきたいと思えます。



国際色豊かな広い視野を育てます

高度情報化社会の現代では、グローバルな国際的交流の重要性の認識が改めて必要となります。

本学では、こうした国際化にともなうコミュニケーションを推進するため、インターネットなどのインフラはもとより、直接海外の研究者との交流を積極的に進めています。

特に、若手の教員・研究者を対象として、研究者同志のつながりや融和を大切にした国際学術交流の一助として、国際学会への出席や留学といった面で支援しています。また、タイのマヒドン大学の訪問学生や、台湾の中山医学大学、中国の四川大学華西口腔医学院などの学生相互訪問なども活発に行われています。



中山医学大学からの訪問学生



マヒドン大学(タイ)からの訪問学生



四川大学華西口腔学院(中国)にて



ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)からの訪問学生

中山医学大学交換留学生

何ごとにも代えがたい 貴重な経験



七里 侑香
しちり ゆか
平成28年
新潟生命歯学部卒業
新潟県長岡市出身

病院実習を終えた5年生の春、入学当初から希望していた交換留学に参加することができました。本学は、数多くの大学と姉妹校の提携を結んでいますが、中でも中山医学大学は最も親交の深い大学の1つと言えると思います。

中山医学大学では5年生が先生や先輩の処置を見学し、6年生が先生の指示のもと実際の患者さんの治療を行います。学生が治療できる範囲もとても広く、同じ学年の学生が責任感を持って難しい処置に真剣に治療に取り組んでいる姿は、とても印象深いものでした。

台湾ではとても暖かいおもてなしを受け、文化の違いや言語の違いに触れることができたほか、“旅行”ではできない病院見学ができたということがと



てもいい経験になりました。また台湾は行き来しやすいという特徴もあり、今でも連絡を取るような友人が多くできたことがこの留学の何よりの収穫だったと思っています。

今回のこの貴重な体験を通して自分自身、歯科の知識を深め英語をさらに勉強して、将来、国際交流の場に積極的に参加し、英語の論文が読めるような歯科医師になりたいという思いが強くなりました。

IUSOH

International Union of
Schools of Oral Health



スペイン、バルセロナでの
IUSOH代表会議



オーストラリア、ブリスベンでの
IUSOH代表会議



カナダ、トロントでの
IUSOH交歓会

姉妹校・協定校への留学

世界に出て 学ぶということ



五十嵐 健輔 助教
いがるし けんすけ
日本歯科大学
生命歯科学講座

現在、私はスイスのベルン大学歯学部へ留学しています。私の所属している生命歯科学講座では、5年間の任期が設けられており、この中で必ず2年間留学する必要があります。そのため、留学をしなければ携わることのできない海外の医療や研究、教育を学ぶことができます。言葉や環境が違うため戸惑うこともありますが、日本では味わうことができない刺激を毎日受けています。留学終了後、海外留学で学んだことを大学へ伝えることが私の目標であり使命であると考えています。

日本歯科大学は、IUSOHを通じて世界中に18校の姉妹校を持っています。そのため、交換留学生制



ベルン大学の同僚と

度や訪問学生制度が充実しており、学生生活を送りながら参加することができます。日本人の海外留学生が減少している昨今、在学中からこの制度を積極的に利用し、1人でも多くの方が留学することを願っています。



2015年5月11日、オーストリアのダヌーベ・プリバード大学と本学18校目となる姉妹校提携を結んだ



IUSOHニューズレター

グローバルな 学術交流活動を展開

本学とミシガン大学歯学部で、1985年5月に「口腔保健のための国際姉妹校連合」(International Union of Schools of Oral Health 略称 IUSOH)を結成しました。この活動は両大学を軸として、世界各国の主要な歯科大学をリングで連携し、1校単位の姉妹校関係ではできない、国際的な学術交流活動を展開しようというグローバルな構想です。本学の姉妹校は現在世界16カ国18校の歯科大学にのぼっています。1985年より本学新潟生命歯学部、ミシガン大学、本学生命歯学部、マンチェスター大学において「国際歯学研修会」が開催されています。

■ 日本歯科大学国際姉妹校・協定校 (提携順)

校章	提携年/大学名/所在地	校章	提携年/大学名/所在地	校章	提携年/大学名/所在地
	1971年 中山医学大学 台中市 (台湾)		1987年 ブリティッシュ・コロンビア大学 バンクーバー (カナダ)		1997年 アデレード大学 アデレード (オーストラリア)
	1984年 ミシガン大学 アンナーバー (アメリカ)		1987年 マンチェスター大学 マンチェスター (イギリス)		1997年 オタゴ大学 ダニーデン (ニュージーランド)
	1985年 パリ第7大学 パリ (フランス)		1988年 マヒドン大学 バンコク (タイ)		2005年 国立モンゴル健康科学大学 ウランバートル (モンゴル)
	1985年 四川大学 華西口腔医学院 四川省成都 (中国)		1991年 トゥルク大学 トゥルク (フィンランド)		2006年 メリーランド大学 ボルチモア (アメリカ)
	1986年 ベルン大学 ベルン (スイス)		1992年 フィリピン大学 マニラ (フィリピン)		2012年 香港大学 香港 (中国)
	1986年 ヘブライ大学 エルサレム (イスラエル)		1993年 ペンシルバニア大学 フィラデルフィア (アメリカ)		2015年 ダヌーベ・プリバード大学 クレムス (オーストリア)

最先端の知識と技術でスキルアップ



渡辺 美穂

わたなべ みほ
新潟生命歯学研究科
顎口腔全身関連治療学
新潟県新潟市出身

「どんな歯科医師になろう……」漠然と学生時代にみなさん考えると思います。歯科医師として患者さんの治療に携わるようになり、学生時代に学んだことはまた違った新しい歯科の知識や技術に触れました。そして将来どんな歯科医師になりたいか、そのためにはどのような知識や経験が必要だろうと進路にとっても悩みました。

私は患者さんの全身管理や外科治療について学びたいと思い、より専門的な知識や技術を習得するため大学院へ進学し、顎口腔全身関連治療学を専攻しました。大学

院では基礎的なことはもちろん、より高度で最先端の知識や技術を学べます。本講座では口腔癌に関する基礎的研究や歯や唾液腺、神経などの再生医療に関する研究などを行っており、教授をはじめ、諸先生方の指導のもと、日々学びながら研究活動に参加しています。また、研究だけでなく診療科に出て臨床経験を積むことができるため、とても充実した大学院生活を送っています。

皆さんも大学院で新しい発見と貴重な体験でいっぱい4年間を過ごしてみませんか。

未来の歯科医療の発展に寄与する

新潟生命歯学研究科では、歯科医学に関する学術の理論とその応用について教授し、歯科医学の発展に寄与できる研究者としての高度な専門的知識を習得するとともに、自立して研究活動を行い、研究機関のみならず地域医療、産業界など社会の多方面においても専門業務に従事できる幅広い研究能力を養うことを目的としています。

専攻主科目は基礎科学系（顎口腔形態学、顎口腔機能学、顎口腔感染環境保健学）、応用科学系（顎口腔材料咬合学、顎口腔病態診断学、顎口腔生体反応学）、臨床科学系（硬組織歯周治療学、顎口腔成長発達学、顎口腔全身病学）の3つから構成され、従来の既成概念にとらわれない特色ある研究指導体制がとられています。



放射線定量診断学ゼミ



口腔材料開発工学ゼミ



硬組織機能治療学ゼミ



機能性咬合治療学ゼミ

高度な知識と手技を学び、 幅広く研究できます



原 基
ほら けいじ
新潟生命歯学研究科
全身関連臨床検査学
埼玉県本庄市出身

大学を卒業して、実際に患者さんの治療を行なっていくとさまざまな専門分野について興味を持ち始め、今後の進路について迷う時が来ると思います。

大学院では、臨床だけでなく基礎分野から疾病を考察し、治療における高度な知識と手技を学ぶことができます。より最先端の知見に触れ、各分野の専門の先生方からのご指導のもと、さまざまな研究に携わることができます。現在、私は内科学講座に所属し教授をはじめ諸先生方からたくさんのお話を学びながら、歯髄細胞を用いた肝細胞への分化及び再生医療への応用についての基礎研究に関わっています。

私にとって、未知の世界であった研究ですが、研究成果が患者さんの治療に少しでも反映されることをめざして、充実した大学院生活を送っています。皆さんも大学院で今後の人生の財産となるような貴重な時間を送ってみませんか。

基礎科学系	顎口腔形態学	硬組織粘膜比較形態学 形態分析化学
	顎口腔機能学	咀嚼分泌神経学 唾液唾液腺機能学
	顎口腔感染環境保健学	口腔感染免疫学 口腔環境保健学
専攻・専攻主科目 応用科学系	顎口腔材料咬合学	口腔材料開発工学 機能性咬合治療学
	顎口腔病態診断学	放射線定量診断学 病態組織機構学
	顎口腔生体反応学	硬組織唾液腺薬物反応学 口腔全身機能管理学
臨床科学系	硬組織歯周治療学	硬組織機能治療学 歯周機能治療学
	顎口腔成長発達学	小児口腔行動科学 咬合形態機能矯正学
	顎口腔全身病学	顎口腔全身関連治療学 全身関連臨床検査学

学術研究を 推進

先端研究センター

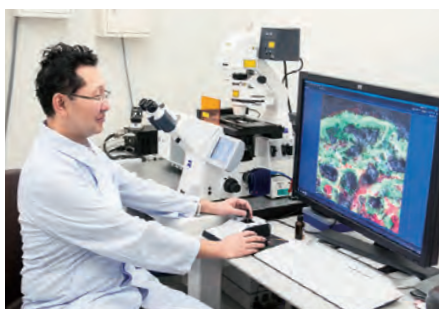
先端研究センターは新潟生命歯学部キャンパスの6号館にあります。研究プロジェクトは主に軟組織疾患を対象とした「口腔疾患の診断と治療における分子生物学的アプローチ」と、硬組織を対象とした「口腔内生体材料における高機能素材の開発とその臨床応用」という2つから構成されています。

研究チームは5～6つのワークグループから構成され、それぞれにコーディネーターがつき、54名の研究者がそのコーディネーターのもとで研究を分担しています。

いずれの研究も、先端的な業績をあげている他大学や民間機関、民間企業とも連携し、多方面の技術協力や共同研究によって進められています。



リアルタイムPCR



共焦点レーザースキャン顕微鏡



電子プローブ・マイクロアナライザー



マイクロフォーカスX線CT

臨床と研究の架け橋

辻村 麻衣子 准教授
つじむら まいこ
新潟生命歯学部
解剖学第2講座



先端研究センターには、素晴らしい研究機器が数多く備わっています。私たちが交流している国内外の最高レベルの研究所に匹敵する、世界に誇れる施設です。これらの充実した機器により、多岐にわたるテーマの研究を行えることは、世界最大の歯科大学である本学の特色の一つであると思います。

先端研究センターは、従来の基礎的な研究に加え、臨床に直結した研究を行う施設としても動き出しました。私は、顎骨の欠損に対する骨造成の研究に参加しています。骨造成は、インプラント治療などの臨床において需要を増しており、私たちがめざしているものは、臨床で生じた問題の解決です。

このような研究により、質の高い医療を支えることは、歯科医師の重要な任務であると考え、やりがいを持って研究活動に取り組んでいます。

先端研究センター教授

土持 眞 [医学博士] 笹川 一郎 [医学博士]



オートグラフ



ナノドロップ



X線光電子分光装置



透過型電子顕微鏡

学術誌・情報誌

本学には「日本歯科大学歯学会」という学術組織があり、歯科医学界の進歩向上を支え、本学のさらなる発展に寄与することを目的として、学術研究発表および学会の開催、学会機関誌などの発行、会員に対する研修会など、多彩な活動を展開しています。

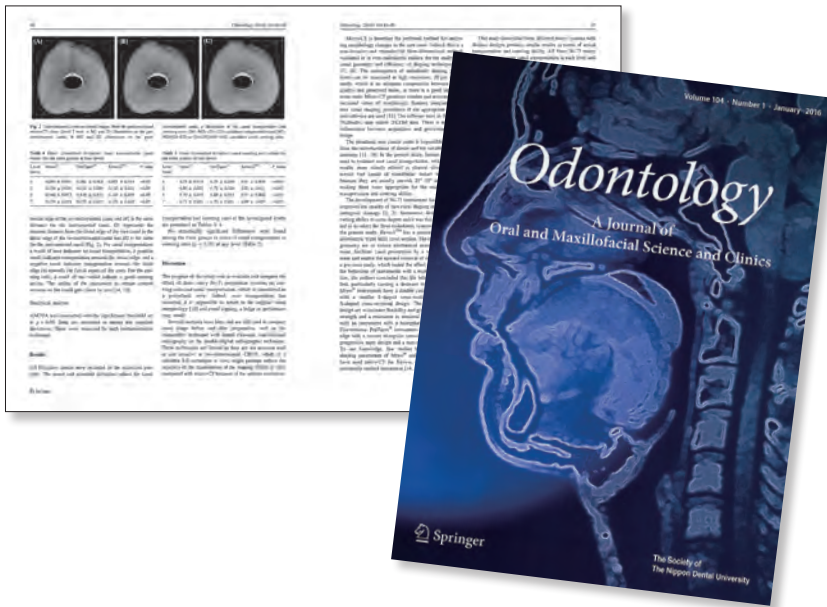
会員は本学の教員・大学院生・校友会員などで構成されています。それぞれの目的に応じて、学術誌、情報誌が活用されています。

歯学



臨床と研究を一体とした学際的内容が中心。年2回発行。

Odontology



日本歯科大学歯学会発行の「Odontology」は、国際的な研究成果発表を目標として、「歯学」を継承し2001年に創刊された英文誌で、年2回発行され、各方面から注目を集めています。2003年にはアメリカ国立医学図書館のデータベースMedlineに収録され、国際学術雑誌として認知されました。その後、世界で最も権威のある学術文献データベースWeb of Scienceに収録され、2009年6月には初めてインパクトファクター(IF)*が付与されました。さらに、2012年6月には5-Year IFも付与されました。

歯科医学・口腔外科学分野で2015年2月現在のIFを付与されている学術誌は、世界中で83誌、日本関係ではわずか3誌しかありません。その中で「Odontology」のIFは1.354(2013年)と平均より上位にランクされており、日本の歯科関係の学会が発行する歯科医学雑誌のなかで最高の評価を得ています。

*IF(インパクト・ファクター)とは ある学術誌に掲載された1論文が、一流の国際誌に平均どれくらい引用されたかを示す指標であり、国際誌の影響度を表す値として使われています。

日本歯科大学紀要



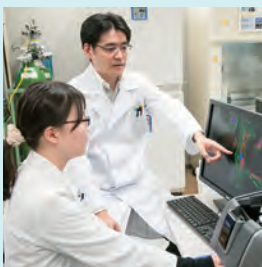
人文、社会、自然、そのほか各分野から、多彩な研究成果が発表されている。年1回発行。

日本歯科大学新聞



昭和23年4月に創刊され、すでに600号をこえる本学の新聞。年8回発行。タブロイド版。1年間の縮刷版も発行。

歯の幹細胞で再生医療へ



中原 貴教授
なかほら たか
日本歯科大学
生命歯学研究科
発生・再生医学講座

現在の歯科医療は、むし歯を削ってモノを詰める、歯が抜ければモノで補う。こうしたモノ、すなわち歯科用材料に支えられてきたのが、従来の歯科医療です。

一方、“細胞”を活用した新たな医療、それが再生医療です。再生医療は、“細胞”によって失われた組織の形や働きを元通りにする、未来の医療として期待されています。

私たち歯科医師は、治療の一環として親知らずなどの歯を抜くことが多くあります。近年、この親知らずにも幹細胞とよばれる特殊

な細胞群の存在が明らかとなり、再生医療に応用できる可能性が示されています。私たちの研究グループは、歯科医師として身近な歯の幹細胞を用いて、歯の再生や細胞移植による再生医療の実現をめざしています。なぜなら、歯の幹細胞は、ノーベル賞に輝いたiPS細胞にも匹敵するポテンシャルを持った細胞であると、私たちは信じているからです。

みなさんも本学の一員となって歯科医学を学び、歯科から発信する再生医療の魅力を感じてみませんか？

医の博物館



『ターヘル・アナトミア』
原著



『解体新書』
『ターヘル・アナトミア』
日本語訳



幕末の浮世絵師・
歌川国芳の風刺画

国内外の医学資料を公開

日本で初めて開設された公的な医学博物館です。15世紀から現在に至る東西の古医書、医療器械器具、その他記録類などを一般公開しています。なかでも解体新書の原本や、房楊枝を使って歯磨きをする江戸時代の浮世絵など、普段目に

しない珍しい資料が多く、興味が尽きない博物館です。姉妹館として、パリのピエール・フォシャル博物館、アメリカのハートフォード医学・歯科医学歴史博物館、中国の中国口腔医学博物館があります。



木床義歯(江戸時代)



フランスの古抜歯描写図

全国でも
珍しい
医学博物館



小山 瑤生
こやま たまき
新潟生命歯学部2年
埼玉県新座市出身

新潟生命歯学部の特長の1つである「医の博物館」は全国でも珍しい歯科に関する資料が多数展示された博物館です。歯科に関係する古い浮世絵から、昔使われていた医療機器、解体新書やターヘル・アナトミアなどの貴重な書物まで、見たことのないような資料が豊富にあって圧倒されます。

また、1年生の医学概論や歯科医学史の授業で教わったものをすぐに実物で確認できるのは、私たち新潟生命歯学部学生の特権だと改めて感じました。

興味を持たれた方はぜひ足を運んでみていただければと思います。

校友会 歯学会



校友会歯学会入会歓迎会

歯科界の向上をめざして

新潟生命歯学部と生命歯学部の卒業生は、同窓生の組織である「日本歯科大学校友会」と学術組織である「日本歯科大学歯学会」に加入します。なお、同じ年度に新潟生命歯学部あるいは、生命歯学部を卒業した者は、互いに区別なく同じ卒回の校友会員となります。

本校友会は、わが国における歯科大学の同窓会組織としては、最大規模を誇っています。そして、校友会員として先輩・後輩と固い絆に結ばれて、歯科界において有形無形に協力しあって、自らの向上に務めています。

校友会と歯学会は協力して、生涯研修活動を実施しています。毎年地区を巡って開催する「歯学研修会」と、本学に集って行う「ポストグラジュエート・コース」および本学独自の企画である「国際歯学研修会」の三本立てで卒業研修を行っています。

このように卒業後も本学との関係を密接に保ち、研修会、定期刊行物などを通して、歯学界の発展という共通の目標のもと、生涯にわたり学術研鑽への道を歩み続けています。



校友会・歯学会会報



学術フォーラム



国際歯学研究会

確かなものへの連鎖は続く

歯科界のトップランナー日本歯科大学へ

橋本 博之 先生

はしもと ひろゆき

日本歯科大学

新潟歯学部67回卒業

日本歯科大学校友会 常務理事

橋本歯科医院院長 [千葉県]



日本歯科大学新潟歯学部(現在新潟生命歯学部)第1回卒業です。現在、日本歯科大学本部校友会常務理事、庶務を担当しております。業務の1つとして学生の皆さんと懇談会を開催し、学生の皆さんに夢を与える特別講義を大学の協力のもと開催しております。本学の学生は将来を見据えしっかりとした目的を持っていると感じます。

日本歯科大学は100年以上の歴史があり、1万人以上いる日本歯科大学の卒業生は全国全ての都道府県に在籍し活躍しております。

歯科医師会には他大学の先生もおりますが本当に親身になって相談・助言してくれるのは日本歯科大学卒業の先輩や友人です。

日本歯科大学は歯科界のトップランナーとも言われており、あらゆる分野での先進歯科医療を学ぶことができます。また全国唯一の「医の博物館」、最近では全国初の口腔リハビリテーションセンターを開設しました。これから歯科医師をめざす皆さん、このすばらしい日本歯科大学にぜひ来てください。お待ちしております。



1909年当時の校舎(東京)



1934年当時の付属病院(東京)



1972年新潟歯学部入学式



開院当時の新潟病院・医科病院

- 1907**

●

明治40年

6月 8月

千代田区神田雉子町34番地に移転
中原市五郎、私立共立歯科医学学校を千代田区大手町に創立

1909

●

明治42年

6月

麴町区富士見町に移転、私立日本歯科医学学校と改称

1911

●

明治44年

2月

中原市五郎、校長に就任

1919

●

大正8年

12月

財団法人日本歯科医学専門学校に昇格、中原市五郎、理事長に就任

1936

●

昭和11年

9月

中原市五郎、名誉校長となり、加藤清治、校長に就任

1941

●

昭和16年

3月

中原 實、理事長に就任

1947

●

昭和22年

6月

旧制日本歯科大学に昇格、大学予科を開設

1948

●

昭和23年

1月

中原 實、学長に就任

1951

●

昭和26年

2月

学校法人日本歯科大学となる

1952

●

昭和27年

4月

新制日本歯科大学となる

1960

●

昭和35年

4月

大学院歯学研究科(博士課程)を設置

1968

●

昭和43年

4月

附属日本歯科技工専門学校(歯科技工士科)を設置

創業者 中原市五郎先生



中原式咬合器



自主独立の精神で歯科医学界の礎を築く

創業者中原市五郎は、慶応3年長野県上伊那郡下平村(現在の駒ヶ根市赤穂村)に生まれる。明治22年5月歯科医術開業免許を受け、23年中原歯科医院を開業。一方麴町区会議員となり、子どもたちの口腔衛生の向上に努める。これは学校歯科医制度の先駆けで、『児童と歯牙の関係』も刊行した。

10数年来念願であった歯科専門機関の創設に向けて力を注ぎ、40年6月私立共立歯科医学学校を設立。44年2月、日本歯科医学専門学校校長に就任。大正4年9月メーランド大学より学位ドクトル・オブ・サイエンスを贈られる。8年12月日本歯科医学専門学校理事長に就任し、本学発展の基盤を築いた。昭和11年8月名誉校長となる。若い頃からの熱心な勉学、旺盛な研究心で、中原式咬合器など歯科医学に関する多くの発明もある。書、俳句、短歌を好む。16年3月22日逝去、75歳。



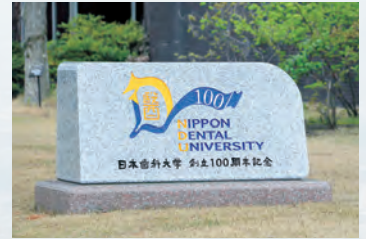
医の博物館



先端研究センター



新潟生命歯学部



創立100周年の碑

1971	1972	1981	1983	1984	1985	1987	1989	1990	1991	1995	1999	2000	2005	2006	2012	2016
昭和46年	昭和47年	昭和56年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和62年	平成元年	平成2年	平成3年	平成7年	平成11年	平成12年	平成17年	平成18年	平成24年	平成28年
4月	4月	4月 6月	4月	8月	5月	4月	9月	4月	4月	6月	2月	4月 7月	4月	4月 6月	10月	6月
附属日本歯科技工専門学校を附属歯科専門学校と改称、歯科衛生士科を増設	新潟歯学部を増設	新潟歯学部附属医科病院を開院 中原 爽、学長に就任	附属新潟専門学校(歯科衛生士科)を設置	中原 爽、理事長に就任	本学主導の「口腔保健のための国際姉妹校連合「USOH」を結成	附属新潟専門学校を新潟短期大学(歯科衛生学科)に昇格	新潟歯学部に医の博物館を開館	大学院新潟歯学研究科(博士課程)を設置	中原 泉、学長に就任	佐藤 亨、学長に就任	新潟歯学部に先端研究センターを設置	中原 泉、理事長に就任 中原 泉、学長に就任	附属歯科専門学校を東京短期大学に昇格	創立100周年記念館を竣工 歯学部を生命歯学部、新潟歯学部を新潟生命歯学部と改称 千代田区大手町に「日本歯科大学発祥の地」記念碑を建立	東京都小金井市に日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックを開院	創立110周年を迎える

名誉学長 中原 實先生



撮影：秋山庄太郎



ヴィーナスの誕生
(油彩・カンバス)
115×90cm

芸術、教育、医療人として頂点を極めた巨匠

中原實は大正4年日本歯科医学専門学校卒業。7年ハーバード大学歯学科卒業。第一次大戦の真っただ中に渡欧。パリで義勇兵を志願し、仏国歯科軍医として、ヴァル・ド・グラス陸軍病院、ビシーの第45戦時病院に勤務、顔面戦傷の兵士の治療にあたった。終戦後、歯科教育事情視察のため、ヨーロッパ各地に滞在。一方、西欧の絵画芸術に魅せられ、安アパートに住まい、モデルのデッサンに励み、ルーブル美術館や画廊をめぐり、若きピカソと一緒に絵を描き、藤田嗣治と意気投合するなど、絵画芸術に傾倒した。大正12年帰国し本学教授となる。昭和16年本学理事長に就任。37年日本歯科医師会会長となる。47年日本私立大学協会会長。自ら絵筆を取り、二科会理事の任にも就く。その作品はわが国を代表する前衛画家として今も光彩を放っている。平成2年10月15日逝去、99歳。

充実安心の サポート体制

学術奨励制度

- 優秀な人材を育成することを目的として、学力・人物とも優れた者に学術奨励金を支給します。
- 年度末に選考を行い、各学年10名以内に対し、1名の者に30万円、そのほかの者には各々10万円を一括支給します。
- 学術奨励金は、返還を必要としません。

育英奨励制度

- 在学中、不幸にして学費負担者が死去したために修学が困難になった場合、学生の経済的援助を行うことを目的として、育英奨励金を支給します。
- 育英奨励金は毎月7万円、年額84万円を支給します。
- 育英奨励金は、返済を必要としません。

特待生制度

- 入学試験において成績上位者、成績優秀者および地域特待があり、入学金、授業料、教育充実費、施設維持費をすべて半額に減免するという制度です。

学生納付金

	特待生	一般学生
入 学 金	300,000円	600,000円
年 間 授 業 料	1,900,000円	3,800,000円
年間教育充実費	365,000円	730,000円
年間施設維持費	300,000円	600,000円
6 年 間 合 計	15,690,000円	31,380,000円

*学費ローンについて 学校法人日本歯科大学では、入学金や授業料の支払いに利用できる学費ローンを信販会社3社と提携しております。
お問い合わせ・ご相談は入試課へ。(025-267-1500)

医科病院が“保健室”代わりに

附属の医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科で構成され、臨床実習などで関連医学を学習します。万一具合の悪くなった場合、医科病院が“保健室”の役割を担っています。また、臨床心理士が毎週来校しており、精神面や生活面に関するさまざまな悩みを相談できます。

保護者説明懇親会

学年ごとに保護者にお集まりいただき、国家試験などの現状を報告するとともに、クラスの指導方針などについて説明しています。



国家試験対策

1学年から第6学年にかけて、各レベルに応じた整合性のある段階的な教育を実施しています。第6

学年では、これまで学んだ基礎系・臨床系科目の内容と臨床実習での成果をもとに、総合的な歯科医学を徹底的に学びます。

新潟と東京の両生命歯学部連携

交換授業

日本歯科大学は新潟と東京に2つの歯学部がありますが、同じ教育方針を共有し学生に対し指導しております。その1つとして、さまざまな授業科目で新潟生命歯学部、東京の生命歯学部の教員がお互いに行き来し、授業をする交換授業を行っています。



新潟生命歯学部の教壇に立つ
東京校小児歯科学講座の苅部洋行教授

合同ワークショップ

少子高齢化を伴う地域医療、最先端の医療技術など医療はさまざまな対応が迫られています。そうした社会要請にこたえるために、教員および職員の能力向上のため研修を積極的に展開しています。合同ワークショップの期間中、新潟と東京の教職員が昼夜を問わず白熱した議論を交わします。



合同ワークショップ

■ 人生の岐路を決める心を育む

幼少より新潟で育ち家系に医療者が多いこともあり、新潟校への進学を自然に選択しました。在校当時クラブ活動が盛んで、学生数も程よく多くが一人暮らしをしていたため、先輩・後輩を問わず繋がりが深く、今でも続くたくさんの絆を持つことができました。

卒業後は医学を含めた広い視野で歯科医療を修練したいと考え、医学部の口腔外科を選びました。学生時は矯正歯科に興味がありましたが、口腔外科臨床で経験した口腔がん治療の難しさに触れ、研究を通じてがんを根治させることがライフワークへと変わっていきました。その後アメリカ留学でさまざまな国の人々と働き、東海岸、西海岸でそれぞれ違った文化や多様な価値観にも触れました。研究成果としてがん再発に特定の細胞群が関わることを見つけ、新規治療法の特許を取得し現在製薬会社と開発を行っています。

現職では口腔外科の臨床を行いながら創薬をめざした先端的研究を行っています。学生時からは紆余曲折を経て目標は定まりましたが、これまでの経験は結果として繋がっていて現在の仕事や価値観の基盤

となっています。岐路に立った時こそ自分が本当にやりたいことを考え、選ぶことが後に悔いのない決断となることだと感じます。振り返ると人間形成に重要な大学時のさまざまな経験や先輩方の言葉が影響しているように思います。日本歯科大学の特長は長い歴史や伝統だけでなく、たとえ初対面でも同窓の先生に感じる“ノリの良さ”と親近感”だと思います。

新潟は食べ物美味しく街の人も優しいので生活しやすい街です。先輩たちも面倒見の良い方ばかりなので安心して学び、将来は多様な社会に対応できる広い視野を持った歯科医師をめざしてください。



後進の指導にも力を入れている



来生 知先生
きまい ちく先生

横浜市立大学大学院医学研究科口腔外科学准教授。医学博士。1995年日本歯科大学新潟歯学部卒業。横浜市立大学医学部口腔外科学講座入局。同大学院を経て2001年米国FDA Visiting Fellow、2006年Stanford大学医学部研究員。2010年より現所属。日本口腔外科専門医、日本がん治療認定医(口腔外科)、国際口腔顎顔面外科専門医。



今井 一志先生
いまい かずし

日本歯科大学生命歯学部生化学講座教授。医学博士。1989年日本歯科大学新潟歯学部卒業。同年、金沢大学附属病院研修医。翌年、同大学院入学。1997年同大学がん研究所を経て、コロンビア大学へ留学。2000年より日本歯科大学生命歯学部生化学講座所属、現在に至る。

■ 広い視野、大きな観点を持って

大学卒業後は、歯だけでなく全身についても学びたいと思い、研修先に金沢大学医学部を選びました。その後、同大学の大学院で病理学に出会い、病理学教室で研究に没頭。アメリカのコロンビア大学では約4年間、主に肺気腫について取り組み、帰国後は現在の日本歯科大学生命歯学部の生化学講座に在籍しています。

現在の研究についてお話しすると、口腔がんと関節リウマチの2つをメインに行っています。

一見、関節リウマチが歯科と関係があるようには思えないのですが、最近の研究では、関節リウマチの患者さんが歯周病に罹患すると、病気が進行したり、薬の効き目が悪くなり、治るのが遅くなるのが解りつつあります。歯科の分野は「歯」だけというイメージを持たれている方が多いか

もしれませんが、それはひと昔前のことで、今は全身のことを考えて治療する必要があります。

今後の目標としては、研究を通じて少しでも多くの成果を社会に還元できればと思っています。直接的でなくても、将来、後世の研究者が私たちのデータを参考にし、新たな可能性をみいだせれば、それ以上のことはありません。とにかく、困っている患者さんのために自分の研究が一助となればと思います。

もう1つは、学生を指導する立場として、「歯」だけのスペシャリストだけではなく、大きな観点で患者様を診ることができると歯科医師が育つよう努めることです。先述しましたように、歯と全身の関係は密着につながっています。広い視野で物事を見てもらいたいですね。



4
April

入学式
第1学年オリエンテーション合宿
富士見・浜浦フェスタ
クラブ活動週間(合同合宿)



第1学年オリエンテーション合宿

富士見・浜浦フェスタ
クラブ活動週間(合同合宿)



5
May



6
June

創立記念日
健康診断
浜浦祭



4月、日本歯科大学新潟生命歯学部に入學すると、大きな学校行事が続きます。まずは、第1学年オリエンテーション合宿。ともにこれから6年間学び合う友と親睦を深めます。5月の連休には生命歯学部との合同合宿。6月の浜浦祭では、先輩、後輩の垣根を越えて学生全員で学園祭を盛り上げます。クラブ活動や、志を同じくする仲間とともに、あなたのキャンパスライフを創ってください。



Campus Life



学生会では1年生から5年生までの学生が、新入生歓迎会や浜浦祭など学校の行事の運営を行っています。学生会とはいわゆる生徒会のような組織です。かた苦しく感じられるかもしれませんが学年を越えて楽しく活動しています。

国家試験を見据えた勉強は大変ではありますが、日本歯科大学では生活のメリハリを大事にしている、部活動やイベント、地域との交流にも力を入れています。私たち学生会は学生の皆さんや先生方の協力を得ながら、さまざまなイベントを通してキャンパスライフのサポートをしています。また、本学では学生や先生方とのつながりを大事にしています。この大学に入って得られたつながりや絆は、卒業後も切れることなく歯科医師となったときに大切なものとなるでしょう。

学生生活の6年間は長いと感じるかもしれませんが、入学して毎日を楽しみ、もちろん時には困難に向かいながら過ごしていると、とても短いものにも感じられます。皆さんと一緒に日本歯科大学で充実した学生生活を過ごしてみませんか。

曾根 一清
そね いっせい
学生委員会委員長
新潟生命歯学部5年
新潟県新潟市出身



夏期休暇



7

July



8

August

夏期休暇

歯学部学生総合体育大会



前学期定期試験



9

September



10

October

後学期授業開始



11

November



12

December

卒業試験

冬期休暇



冬期休暇



1

January



2

February

後学期定期試験
歯科医師国家試験



卒業式



3

March





Let's enjoy!

クラブ活動

日本歯科大学新潟生命歯学部のクラブ活動は、体育会系、文化会系、学術会系に分かれ、体育会系は全国の歯科大学が集う全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの大会で競い合います。また、文化会系や学術会系は、浜浦祭での発表の機会があります。

2015年度全日本歯科学生総合体育大会において我がバドミントン部は昨年度に引き続き、総合優勝を果たすことができました。

私が主将を務めた2年間のうちに、大会2連覇という素晴らしい成績を残すことができたことを非常にうれしく思っております。

このような成績を残すことができたのも、日々指導くださった先生、先輩として部員一丸となって練習に取り組んできたことの結果だと思っております。現在、バドミントン部の部員は6年生まで含め45名ほどで本学では一番大きな部活となっております。

初心者も多く、楽しくバドミントンをやりたい人、大会で活躍したい人など、それぞれ目標に向かって全員が仲良く楽しい雰囲気の中で部活に取り組んでおります。

今年もまた昨年に引き続き良い成績を残せるよう、また、バドミントン部がさらに活気溢れる部活になるよう部員一同一生懸命努力していきたいと思っております。

角田 望

バドミントン部 主将
新潟生命歯学部 5年
福島県白河市出身





トレーニングルームも完備

■ 体育会系

アメリカンフットボール部
ウィンドサーフィン部
空手道部
剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
サッカー部

■ 文科会系

軽音楽部
国際交流部
写真部

■ 学術会系

解剖学グルンド
歯周病学グルンド

柔道部

少林寺拳法部
水泳部
スキー部
ソフトテニス部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部

シネマ倶楽部

PMA
温泉卓球同好会
華道同好会

微生物学グルンド

病理学グルンド
放射線学グルンド

ボウリング部

ヨット部
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
スキューバダイビング同好会
スノーボード/サーフィン同好会
フットサル同好会

茶道同好会

自動車同好会
ESS同好会

麻酔学グルンド

SCRIP



体育館の1階にはトレーニングルームが完備されています。ランニングマシンやエアロバイクからベンチプレスや腹筋を鍛えるマシンまでありますので、それぞれの用途に応じて鍛えることができます。



Let's enjoy!

合同合宿

毎年早春のクラブ活動週間には、新潟と東京の両生命歯学部による合同合宿が約1週間にわたって行われ、ともに汗を流します。両生命歯学部の交流の場として、なくてはならないイベントです。



富士見・浜浦フェスタ

「富士見・浜浦フェスタ」は新潟生命歯学部・生命歯学部の第4学年を対象に行われる合同ワークショップで、2015年は福島県裏磐梯で開催されました。

“望まれる歯科医師像とは”をテーマとし、1泊2日の緊密なスケジュールで、新潟校と東京校の学生を混合した班分けをし、課題にしたがい議論を重ね、発表を行います。これにより、日本の歯科医療に貢献する歯科医師となるために、全国29校の歯科大学・歯学部を先導する日本歯科大学特有のプロフェッショナリズムを身につけることを目標としています。



4年生では富士見浜浦フェスタという東京校との合同勉強合宿が福島で行われます。この合宿では東京校との合同グループで、与えられた問題についてグループ討論を行って解答を導き出します。東京校と協力し、競い合うことで絆が深まり、勉強に対する意識も向上するので非常に良い経験となります。

1泊2日の富士見・浜浦フェスタの後には、福島県猪苗代で体育会主催の部活動春合宿が行われます。私は水泳部に所属していましたが、体育会実行委員としても参加しました。どの部活も東京校との合同練習で切磋琢磨し、最終日の慰労会では全部活が集まり共に合宿の思い出を作ることができました。日本歯科大学は文武両道が実践できるということを改めて実感する有意義な合宿となりました。



平井 悟
ひらい ことる
新潟生命歯学部5年
静岡県榛原郡出身



浜 浦祭は毎年6月第2週の週末に行われ、学生が主体となってイベントの企画や運営を行っています。芸能人のトークイベントや特設ステージでの催し物に加えて、部活動や同好会の模擬店のほか、新潟病院では無料歯科相談も平行して行って好評を得ています。

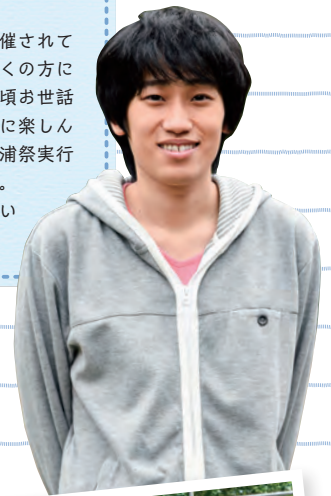
また、一般の方向けの公開講座も同時に開催されており、歯科や教養系の先生の講演など毎年多くの方にご参加いただいています。学生だけでなく日頃お世話になっている近隣の方々、ご来場された皆様楽しんでいただけるような学園祭になるように、浜浦祭実行委員長として盛り上げていきたいと思ひます。

今年もさまざまな企画をしていきたいと思ひますので、ぜひお気軽にお越しください。

Let's enjoy!

浜浦祭

浜浦祭は6月に開かれます。新潟短期大学の学生も参加し、学内の敷地には模擬店が並び、特設ステージではイベントがいろいろを添えます。歯科大学ならではの無料歯科相談や公開講座も行われます。



村戸 建宏
むらと だけひろ
浜浦祭実行委員長
新潟生命歯学部4年
石川県金沢市出身



無料
歯科相談



公開講座



MY NDU LIFE

日歯大新潟に通う先輩たちはふだんどんな生活をしているのかな？
勉強に、部活にプライベートなどなど……。ちょっとのぞいてみよう！

MY NDU LIFE



コミュニケーションについて学ぶ授業もあります



物理学実習は好きな授業の1つです



荒川 真
あらかわ まこと
新潟生命歯学部2年
栃木県栃木市出身

将来の歯科医師像を思い描いて

1 学年の前期では、一般教養の講義で高校より発展した内容を学びます。早期臨床実習や歯科医学入門演習で、併設されている新潟病院を見学する授業や、歯科の内容やコミュニケーションについて触れる授業もあります。

後期になるとファンダメンタルスキル実習という科目のなかで、マルチメディア臨床基礎実習室で実際に歯科材料を使って実習を行います。初めて歯科材料に触れる授業なのでワクワクする気持ちもありますし、実習室には実際の歯科医院に設置されている器具やユニットがあ

るので、1年生の実習でも本格的な歯科の内容に触れることができ、改めて歯科医師になるという実感も湧いてきます。

部活動には所属していませんが、サッカーが好きなので、海外サッカーの試合をテレビで見たり、友達と試合を見に行ったりしています。

休日には友達と駅前に出かけて食事をしたり、グラウンドでサッカーをして体を動かしたりして1週間の疲れをリフレッシュしています。食事をしながら自分たちが将来なる歯科医師像についても話したりしています。

新潟駅で
クラスメイトと
待ち合せ



ビッグスワンで
サッカー観戦も
できます



食事中は
将来の話も
します！



荒川
くんの

ある1週間(第1学年次)

□は実習

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
9:00	健康科学	基礎独語	生活と環境	材料科学	ファンダメンタルスキル実習Ⅱ	サッカー観戦
10:30	熱と物質の物理	総合英語	ヒトの一生	国語表現法	ファンダメンタルスキル実習Ⅰ	
12:15	お昼休み					友人とショッピング
13:00	経済学	実用医学英語Ⅰ	自然科学実習	青年心理学	生体物質の化学	
14:45	自然現象の数学	基礎科学		医学概論・ 歯科医学史	プロフェッション	
16:30				細胞の生物学		
	図書館で勉強	アルバイト	アルバイト	フットサル	友人とご飯	

MY INDIVIDUAL LIFE

毎日が充実した有意義な大学生活



病院実習は実際の患者さんを診療できる貴重な時間です



自習にはよく学習室を利用しています

第5学年になりますと大学に併設されている日本歯科大学新潟病院での臨床実習が始まります。

4年間受けた講義と実習での知識や技術を活かし、実際に臨床の場で患者さんと触れ合います。緊張や不安もありますが、技術だけではなく患者さんとのコミュニケーションの大切さを学ぶことができ、歯科医師になりたいという気持ちがより一層高まる貴重な時間となります。

私はワンダーフォーゲル部に所属しています。

ワンダーフォーゲルは山に登るという意味ですが、山に登る以外にもお花見やバーベキュー、キャンプなどのさまざまなイベントもあります。

部活での活動は他の学年の人たちとも関わられるので交流の場が広がります。勉強を教え合ったり、また礼儀などの常識も学ぶことができます。

大学生活では勉強だけではなく、部活動や休日に友人と食事に行くなど、とても有意義で充実した生活を送っています。

佐藤

さんの

ある1週間(第5学年次)

 は実習

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
9:00						
10:40	病院実習	医科病院(耳鼻科)実習	病院実習	病院実習	病院実習	友人とショッピングなど
12:00	お昼休み					
13:00	病院実習	病院実習	在宅診療実習	病院実習	地域保健実習	
18:00	学習室で勉強		ワンダーフォーゲル部		友人と食事	

佐藤 杏奈

さとう あんな
新潟生命歯学部5年
群馬県前橋市出身



About the NIIGATA

にいがた おすすめ MAP

新潟生命歯学部がある新潟市中央区は市の中心に位置し、緑も多く生活に便利なところ。買い物スポットのある万代や古町、日本海を望める展望台など、見どころ満載！ そんな大学周辺のスポットを紹介します。

西海岸 周辺



1 関屋浜の夕日



2 マリンピア日本海

新潟生命歯学部のすぐ近くにある関屋浜から臨む夕日1は「絶景」の一言。マリンピア日本海2は本州日本海側最大級の水族館でイルカのショーはちびっ子から大人まで人気。そのすぐそばにあるジェラート専門店ジェラテリアポポロ3のアイスは、やみつきになるおいしさです。



3 ジェラテリアポポロ

古町 周辺



4 新潟三越



5 とんかつ太郎



6 白山神社

昔ながらの街並みを残す古町エリアには、多くのお店が連なるふるまちモールや百貨店の老舗、新潟三越4があります。新潟名物たれかつ丼が食べられるとんかつ太郎5も古町にあります。古町エリアから少し足をのびた場所にある白山神社6は、新潟の総鎮守。初詣や新潟まつりの時期は露店が林立し、大いににぎわいます。

学生会の おすすめ

食品スーパーやホームセンターから映画館まであるDeKKY4017。複合レジャー施設のROUND 18。何でも揃う便利さが魅力のイオン新潟南ショッピングセンター。日歯大の近くにある関屋ショッピングセンター9には、薬局、食品スーパー、ヤマダ電機やブックオフもあります。



7 DeKKY401



8 ROUND 1



9 関屋ショッピングセンター



私たちがよく行く
おすすめスポットを
ご紹介しま〜す！



10 朱鷺メッセ



11 みなとびあ

柳都大橋 周辺

朱鷺メッセ10はさまざまなイベントが開催されるコンベンションセンター。31階にある展望台からは市内を一望することができます。信濃川の河口にあるみなとびあ11は新潟市の歴史博物館です。



12 デンカビッグスワンスタジアム



13 HARD OFF ECOスタジアム

スポーツ 観戦

サッカーJリーグで2番目にサポーターが多いのがアルビレックス新潟。その本拠地ビッグスワンスタジアム12には熱狂的サポーターが応援にかけつけます。そのとりにあるHARD OFF ECOスタジアム13はプロ野球の公式戦も開催されます。



14 萬代橋

日本百名橋にも選ばれた萬代橋14の周辺は、大型ファッションビルLoveLa万代15、LoveLa2 16に加え、映画館も入るビルボードプレイス17や伊勢丹が立ち並び、新潟市で一番の繁華街です。新潟日報メディアシップ18ではさまざまなイベントも開かれています。なぜかカレーライスが大人気の万代シティバスセンター内にはぼっぼ焼き専門店のあやめぼっぼもあります。



15 LoveLa万代



16 LoveLa2



17 ビルボードプレイス



18 新潟日報メディアシップ



新潟駅周辺

新潟駅の駅ビルにヨドバシカメラ、南口の目の前にはビックカメラ19があり、家電量販店の激戦がくり広げられている。大型ブックセンターのジュンク堂書店20や、安さが売りのドン・キホーテもあります。



19 ビックカメラ



20 ジュンク堂書店



21 りゅーとぴあ



22 やすらぎ堤

やすらぎ堤周辺

りゅーとぴあ21はコンサートホールや劇場、能楽堂などを備えた新潟市民芸術文化会館。やすらぎ堤22は信濃川下流の堤防で、河岸を整備した緑地帯です。新潟市政100周年植樹祭で植えられた桜と柳が河岸沿いに続き、市民の憩いの場となっています。

日本海側最大の都市 にいがた

← 飛行機(国際便)
← 飛行機(国内便)
← 上越新幹線

大分県

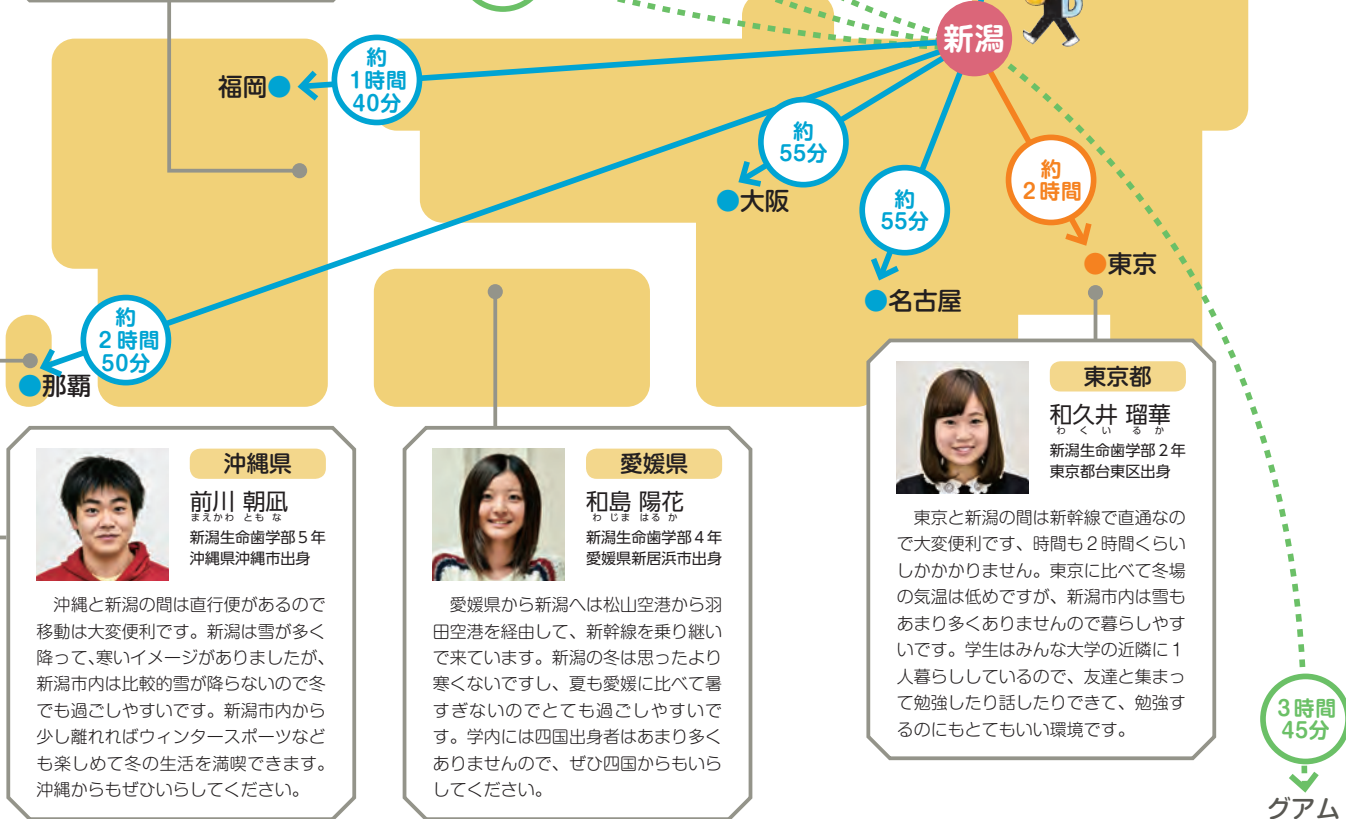
福成 由佳
 ふくなり ゆか
 新潟生命歯学部3年
 大分県中津市出身

大分県から新潟へは新幹線と福岡空港から飛行機を使って移動しています。九州地方からも多くの学生が日本歯科大学にきています。大分に比べて気温は低めですが冬にもそんなに雪も降りませんので、過ごしやすいです。大学周辺は海も近いですし、新潟駅周辺の街中へも近いですので大変暮らしやすいところです。

北海道

伴 圭介
 ばん けいすけ
 新潟生命歯学部2年
 北海道紋別郡出身

地元の紋別からは女満別空港から新千歳空港を経由して新潟にきています。新潟↔新千歳間は1日に4便ありとても便利です。紋別に比べて新潟は雪が少なくとても過ごしやすいです。大学キャンパスから海岸がすぐ近くにあるのでよく海を見に行き癒されます。大学内には北海道人も多いのでぜひ北海道からも大学にきてください。



沖縄県

前川 朝凷
 まえかわ あさむすぶ
 新潟生命歯学部5年
 沖縄県沖縄市出身

沖縄と新潟の間は直行便があるので移動は大変便利です。新潟は雪が多く降って、寒いイメージがありましたが、新潟市内は比較的雪が降らないので冬でも過ごしやすいです。新潟市内から少し離ればウィンタースポーツなども楽しめて冬の生活を満喫できます。沖縄からもぜひいらしてください。

愛媛県

和島 陽花
 わじま ひなた
 新潟生命歯学部4年
 愛媛県新居浜市出身

愛媛県から新潟へは松山空港から羽田空港を経由して、新幹線乗り継いで来ています。新潟の冬は思ったより寒くないですし、夏も愛媛に比べて暑すぎないのでとても過ごしやすいです。学内には四国出身者はあまり多くありませんので、ぜひ四国からもいらしてください。

東京都

和久井 瑠華
 わくい るか
 新潟生命歯学部2年
 東京都台東区出身

東京と新潟の間は新幹線で直通なので大変便利です、時間も2時間くらいしかかかりません。東京に比べて冬場の気温は低めですが、新潟市内は雪もあまり多くありませんので暮らしやすいです。学生はみんな大学の近隣に1人暮らししているの、友達と集まって勉強したり話したりできて、勉強するのにとてもいい環境です。

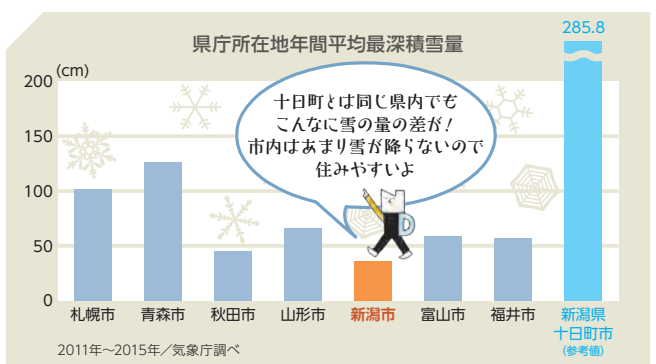
日本海側最大の交通拠点

毎年約120万人が利用する新潟の空の玄関口、新潟空港。国内線は北は札幌から南は沖縄まで、多くの主要都市と直通便が通っています。国際航路もソウルをはじめ多数の直行便が開通されています。東京へは、上越新幹線で最短97分！ 関西方面へのアクセスも充実しています。関越自動車道や北陸自動車道などの高速道路も整備されており、車、高速バスの移動も便利です。また海路も新日本海フェリーでは、新潟を経由して敦賀と北海道を結んでいます。2007年、政令指定都市に制定された新潟は、日本海側最大の都市として発展を続けています。

年中通して過ごしやすい気候

新潟といえば雪深く寒いというイメージですが、右のグラフからもわかるように内陸部は別として、新潟市は降雪量は少なく、積もること

とはあまりありません。1、2月の最低気温も氷点以下になることの方がまれです。また、夏季の平均気温もそれほど高くないことから、1年を通してとても過ごしやすい都市といえます。



日本歯科大学
新潟生命歯学部
オープン・キャンパス

OPEN
CAMPUS
2016

高校生はもちろん
どなたでもご参加
いただけます!



ここが
ポイント!

- マルチメディア臨床基礎実習室のすばらしさを体験
- 服装は自由
(白衣は貸出しいたします)
- ご家族の同伴も歓迎
(保護者説明会も開催予定)
- 参加者は受験料が免除
(1回分)
- 県外から参加の方へ宿泊補助
※AO入試の受験はオープンキャンパスへの参加が条件です。

2016年度開催日程(予定)

開始11:20(受付10:30)~終了16:00

6月11日(土)

浜浦祭と同時開催

6月26日(日)

7月9日(土)

7月27日(水)

8月9日(火)

8月19日(金)

おもなプログラム(予定)

受付



受付では在学生がみなさまをお出迎えます。

大学説明会



最初に教員や在学生による説明会を実施します。

ランチ



ランチを食べながら在学生にさまざまな話を聞くことができます。

体験実習



マルチメディア臨床基礎実習室を使って実習を体験できます。

キャンパスツアー



学部の施設だけでなく、手術室など新潟病院内も見学します。



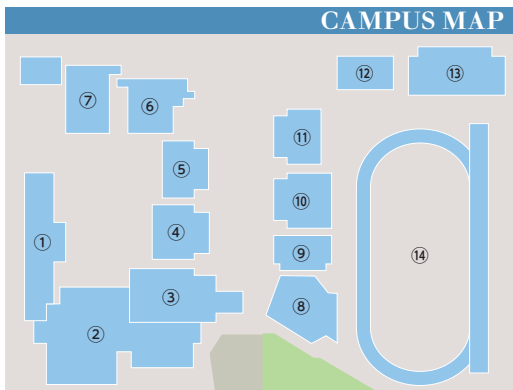
このほか、女子寮見学や入試個別相談も行っています。

詳しくは
ホームページを
ご覧ください!



お問い合わせは 日本歯科大学新潟生命歯学部 入試課 日本歯科大学新潟生命歯学部 ホームページ

tel. 025-267-1500 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>



- ① 医科病院
- ② 新潟病院(コンビニエンスストア)
- ③ 本館(事務室・図書館)
- ④ 1号館(アイヴィホール・講義室・マルチメディア臨床基礎実習室)
- ⑤ 2号館(講義室・実習室・ITセンター)
- ⑥ 3号館(新潟短期大学主要校舎)
- ⑦ 先端研究センター
- ⑧ 講堂
- ⑨ 医の博物館、GAKUSHOKU、売店
- ⑩ 4号館(講義室・実習室・セミナー室)
- ⑪ 5号館(講義室・実習室)
- ⑫ 学生会館(武道場)
- ⑬ 屋内運動場(トレーニングルーム)
- ⑭ グラウンド

Google インドアビュー

大学施設の内部を
WEBから覗いてみよう!



大学は敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。
キャンパス禁煙支援委員会



- ➔ 新潟駅から新潟交通バス西循環で約25分
浜浦町1丁目下車 徒歩1分
- ➔ JR越後線関屋駅から徒歩10分
- ➔ JR新潟駅から車で約25分

日本歯科大学 新潟生命歯学部
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 Tel: 025-267-1500



入学試験要項のご請求はこちらへ